

# 千葉市文化芸術振興計画年次報告書(平成22年度実施状況及び平成23年度実施計画)

## 基本施策1 文化芸術をはぐむまちづくり

### (1)文化芸術の創造と発信

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
1	①	国際文化フェスティバル	「市民の日」関連行事及び国際都市・千葉をアピールするために、実行委員会を組織し、姉妹・友好都市から文化芸能団を招き、国際理解を深める。	実行委員会 千葉市国際文化フェスティバル実行委員会、(財)自治総合センター	総務局 市長公室 国際交流課	開催日 : 平成22年10月17日(日) 会場: 千葉市民会館 内容: 姉妹友好都市関連アーティストによるコンサートや市民団体とのコラボレーション・国際理解講座 来場者: 757名	来場者数の維持 (平成21年度 902人)	休止	休止	総事業費 4,900	総事業費 0	B
2	①	千葉市民芸術祭	千葉市文化連盟が市内各会場において行う、茶華道・文芸・音楽・伝統芸能・演劇・美術などの活動に対して、広報の協力や負担金交付などの支援を行う。	その他 千葉市文化連盟	市民局 生活文化部 文化振興課	開催日程: 開幕式典 平成23年2月20日(日) 各種行事 平成23年2月27日(日)～3月27日(日) 会場: 千葉市民会館ほか市内9会場 内容: 千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計17行事を開催する予定であったが、震災による影響のため途中中止を含め8行事が中止となる。 来場者数: 28,571人	来場者数の増加 (平成21年度 43,647人)	開催日程: 平成24年2月下旬～3月下旬 会場: 千葉市民会館ほか市内各会場 内容: 千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計17行事を開催する	来場者数の増加	総事業費 12,666	総事業費 16,642	B
3	①	ベイスайдジャズ千葉	街の賑わい創出や活性化のため、ジャズストリートやワークショップ・コンサートなどのジャズイベントを開催(平成10年～)	実行委員会 (財)千葉市文化振興財団・ベイトリヤ 千葉実行委員会	市民局 生活文化部 文化振興課	平成22年度は「ゆめ半島千葉国体」とタイアップし、開催時期を国体とあわせ、例年の中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺)に加えて、会場をJR海浜幕張駅周辺にも拡大し、各種ジャズイベントを開催した。 ・ジャズパレード(10月2日) 来場者数500人 ・デモンストレーション 来場者数計1,065人 (中央地区: 7月31日、8月28日、9月12日、9月26日 幕張地区: 9月27日、9月29日、9月30日、10月1日) ・ジャズトレイン(9月26日 1日2往復) 来場者数計60人 ・前夜祭コンサート(10月1日) 文化センター 来場者数449人 ・ジャズストリート(10月2日、3日) 来場者数計13,950人 10月2日は幕張地区においても実施(来場者数2,095人) ・ジャズボーカル講座(全3回) 受講者数43人 ・ふれあい音楽クリニック(8月28日、9月11日、9月12日、9月26日) ※市内の中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサート(10月3日)にて成果を発表した。 クリニック参加者数46人、コンサート来場者数350人 ・スターダストジャズ(9月5日 1日2回) 来場者数計300人 総来場者数 16,763人	総来場者数: 20,000人 ジャズボーカル講座 受講生: 50人(定員)	中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺)や幕張地区にて実施するジャズストリートを中心に、各種ジャズイベントを開催する。 ・デモンストレーション(9月) ・ジャズトレイン(9月) ・ストリートGOLD(10月1日) 文化センター ・ジャズストリート(10月1日、2日) 10月1日は幕張地区・中央公園等(無料会場) 10月2日は中央地区(有料・無料会場)にて開催 ・ジャズボーカル講座(全3回程度) 定員50人(7、9月) ・ふれあい音楽クリニック(8、9月) ※市内の小・中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサートにて成果を発表する。 ・スターダストジャズ(9月)	総来場者数: 18,000人 ジャズボーカル講座 受講生: 50人(定員)	総事業費 13,600	総事業費 11,786	A
4	①	東京フィルハーモニー交響楽団提携事業	東京フィルハーモニー交響楽団と提携し、定期演奏会や無料のコンサート等を実施	市 (財)千葉市文化振興財団に委託	市民局 生活文化部 文化振興課	・定期演奏会 1回 来場者数585人(585人/1回) 11月5日(金)、3月11日(金)→震災のため中止 東京銀行文化プラザ ・ミニコンサート 2回 来場者数450人(225人/1回) 1 10月24日(日) 千葉そごう9F滝の広場 2 2月19日(土) 稲毛サティ 総来場者数: 1,035人	1回あたり来場者数の増加 (平成21年度 ・定期演奏会 700人 ・ミニコンサート 168人)	休止(提携は継続)	休止(提携は継続)	総事業費 8,688	総事業費 0	B
5	①	舞台芸術鑑賞事業	優れた音楽、演劇等の鑑賞機会を定期的に提供することと伝統芸能の継承を目的として、舞台芸術公演を実施	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	○創造事業 ・エイサー太鼓講座全10回(4月16日・23日、5月7日・28日、6月4日・11日、7月2日・9日・16日・23日)市民会館 参加者数: 22人 ・おやじハント向上計画全4回(6月12日・19日、7月24日・31日)文化センター 参加者数: 3グループ ・沖繩コンサート琉球物語～エイサー太鼓の達人～(8月7日)若葉文化ホール 入場者数: 345人 入場率: 70.8% ・「山口 & 東京ペンチャーズ」～出陣O!E! 夏の陣オールディーズ祭～(9月5日)文化センター 入場者数: 219人 入場率: 46.6% ○伝統文化振興事業 ・能楽体験講座 全4回(12月4・25日、1月15・16日)文化センター 参加者数: 8人 ・能公演(1月29日)文化センター 入場者数: 123人 入場率: 25.3% ・雅楽コンサート(2月17日)文化センター 入場者数: 370人 入場率: 74.5%	平均入場率 70%	廃止	廃止	総事業費 13,066	総事業費 0	B

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
6	①	鑑賞事業	優れた舞台芸術や人気の舞台芸術を低廉な価格にて提供し、市民の鑑賞の機会を提供するとともに、千葉市の文化振興を図っていく。	指定管理者 アートブレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①はじめてのオーケストラコンサート 若葉文化ホール開館20周年を記念として、普段オーケストラの演奏会に行くことのできない子どもをもつ家庭を対象に東京フィルによるフルオーケストラコンサートを実施する。 日程:11月12日(土) 会場:若葉文化ホール 13:30開場、14:00開演 出演:東京フィルハーモニー交響楽団、指揮 藤野浩一 料金:大人2,000円、こども1,000円 ②高嶋ちさ子コンサート 例年実施し、満席となる高嶋ちさ子によるコンサート 日程:平成24年3月18日(日) 会場:千葉市民会館大ホール 14:00開場 15:00開演 料金:4,000円	①入場者500人 ②入場者1,000人	総事業費 0	総事業費 6,537	
7	①	美術館展示	優れた美術品の鑑賞機会を多くの市民に提供するため、来館者の希望や開催意義などを考慮しつつテーマを設定し、それに基づいた展示を行う。また関連する講演会や講座、イベントなどを開催する。	指定管理者 (財)千葉市教育 振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	企画展-「伊藤若冲ー アナザーワールドー」展ほか5展覧会を実施 所蔵作品展-「江戸みやげ〜所蔵作品名品選」ほか4展覧会を実施 講演会など-企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施 展覧会総入場者数:211,920人	展覧会総入場者数: 96,000人	企画展-「ポストン美術館浮世絵名品展 錦絵の黄金時代」ほか5展覧会を実施 所蔵作品展-「江戸の美術」ほか4展覧会を実施 講演会など-企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施	展覧会総入場者数: 106,000人	総事業費 169,431	総事業費 138,385	A
8	①	大道芸フェスティバル inちば (ちば大道芸の日)	毎月第4日曜日に、中心市街地において、大道芸人によるパフォーマンスを楽しめるイベントを開催する。平成22年度より、千葉市は実行委員会より脱退。	実行委員会 大道芸フェスティ バルinちば実行委 員会	経済農政局 経済部 経済企画課	開催日:4月25日(日)・5月23日(日)(雨天中止)・6月27日(日)・ 7月25日(日)・8月29日(日)・9月26日(日)・ 10月17日(日)・11月28日(日)・12月26日(日)・ 1月23日(日)・2月27日(日)・3月27日(日) ※「大道芸フェスティバルinちば」については3月27日(日)実 施 会場:千葉銀座通り・きぼーる他 観覧者数:2,937人	観覧者数:3,000人	3月の開催に向けて調整中	未定	総事業費 0	総事業費 0	B
9	①	ホカホカよさこい	街そのものを舞台とし元気にさせる「よさこい」を老若男女で楽しみ、中心市街地の活性化と青少年の健全な育成をはかる。	実行委員会 ホカホカよさこい 実行委員会	経済農政局 経済部 経済企画課	開催日:平成22年11月28日(日) 10:00~20:00 会場:①千葉中央公園 ②そごう千葉店京成千葉駅前広場 ③そごう千葉店センシティガーデン 観覧者数:約5,000人	観覧者数:5,000人	未定	未定	総事業費 1,200	総事業費 0	B
10	① ③	4館連携事業	美浜文化ホール、千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホールそれぞれのホールの特性を活かした事業を展開し地域の文化の創造拠点としての文化振興を実施	指定管理者 アートブレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①マエストロの旅 ジャンルを問わず巨匠(マエストロ)と呼ばれた芸術家の功績を称えるトリビュートイベントを実施(詳細未定) 日程:7月、10月、12月 会場:美浜文化ホール、千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホール ②6区選抜市民文化祭 平成24年度の6区選抜市民文化祭開催に向けて、サポーターとなる市民の育成を目的として全6回の市民プロデューサー講座を開催。公演企画の立案から開催までに至るプロセスをバックステージツアー、実習と多角的なプログラムで実施する。	参加者:30人	総事業費 0	総事業費 260	
◎	11	② シティセールス キャンペーン	本市の魅力を発掘・育成し、効果的な情報発信を行い、市のイメージアップと千葉市ブランドの確立を目指す。	市 主催	総合政策局 市民自治推進部 広報課	開催日:平成22年7月8日(木)、9日(金) 場所:日本橋イベントスペース 内容:シティセールスキャンペーン活動における ミニジャズコンサート・ポスター掲出 市内産農産物等販売、アンケート調査	開催期間:2日間	平成23年秋以降 移住促進に資するイベント(未定)	本市への移住促進につながる イベントの開催	総事業費 443	総事業費 992	B

(2)まちづくりと文化の連携

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
◎ 1	①	文化ゼミナール事業	市民参加による舞台芸術の体験、学習する機会を設けて、地域住民による舞台芸術の創造、発信を行っていく。	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①舞台セミナー・ワークショップ 日程:7月～8月午前午後(全7回程度) 会場:千葉市文化センター 受講予定者数:20人 ②子ども育成プログラム「童謡お話コンサート」 日程:8月20日(土) 会場:若葉文化ホール 入場予定者:250人 ③ホールで思いっきり練習してみよう 日程:9月、平成24年2月 会場:若葉文化ホール 募集団体:各回5団体程度 ④若葉アーティストコンサート 日程:全3回、9月、11月、平成24年1月 会場:若葉文化ホール 入場予定者:各回150人 ⑤若葉舞台芸術体験教室 日程:全10日、7月～8月、11月～12月 会場:若葉文化ホール第2リハーサル室 定員:各回15人 ⑥わかば芸術フェスティバル 日程:全2回、5月、10月 会場:若葉文化ホール 応募団体:各種サークル5団体	①受講者数:20人 ②入場者数:250人 ③参加団体:各回5団体 ④入場者数:各回150人 ⑤受講者数:各回15人 ⑥参加団体:各回5団体	総事業費 0	総事業費 4,151	
◎ 2	①	中央区ふるさとまつり	中央区ふれあい事業の一環として、お年寄りから子どもまで、幅広い年齢層が参加でき、各種団体及び町内自治会の交流や連帯意識を醸成することを目的として、区民による手づくりのまつりを開催する。	実行委員会 中央区 ふるさとまつり 実行委員会 補助金	中央区 地域振興課	開催日時:平成22年10月17日(日) 午前9時30分～午後4時 会場:中央公園、栄町通り、千葉銀座通り 内容:【中央公園】 ・県警音楽隊の吹奏楽、千葉明德高校のチアリーディング、 県立千葉工業高校のロボット相撲、ロッチマリーンズのマスコットショーや市民グループの音楽演奏、和太鼓など ・B級グルメコーナーや各種団体の出店など 【栄町ロードステージ】 ・チアリーディング、音楽演奏、海外舞踊など 来場者数 103,000人	来場者数の増加 (平成21年度 85,000人)	開催日:平成23年10月16日(日) 会場:中央公園及び周辺 内容:高校生、大学生を企画演出に参画させ、実行委員会を強化させるとともに、商店会との連携により“躍動”“創造”を図り、さらなる事業の向上・発展に努める。	来場者数の増加 (105,000人) (平成22年度実績 103,000人)	総事業費 3,833	総事業費 3,230	A
◎ 3	①	花見川区民ふれあい事業 (花見川区民まつり)	花見川区内の各種団体の代表者等により花見川区民まつり実行委員会を組織し、まつりを開催する。 区民相互の協調と親睦・区民意識の醸成及び高揚を図り、地域社会の発展に寄与する。	実行委員会 花見川区民まつり 実行委員会 補助金	花見川区 地域振興課	開催日:平成22年10月17日(日) 午前10時～午後3時 会場:花見公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、 展示PRコーナー 来場者数 57,000人	入場者数の増加 (平成21年度 57,000人)	開催日:平成23年10月23日(日) 会場:花見公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、 展示PRコーナー	入場者数の増加 (58,000人) (平成22年度 57,000人)	総事業費 3,856	総事業費 3,935	B
◎ 4	①	稲毛区民まつり	区民と関係団体が連携し、それぞれの区の地域特性を活かした多彩な催しを展開する「区民まつり」を開催することにより、主催者との連帯感の高揚と区民意識の醸成を図る。	実行委員会 稲毛区民まつり 実行委員会 補助金	稲毛区 地域振興課	開催日時:平成22年10月17日(日)午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容: <文化的イベント> 稲毛区民音頭・お神楽・太鼓・マーチングバンド・フラダンス・軽音楽・歌謡ショー等 <子供向けイベント> 竹馬づくり・ミニSL・夜灯灯籠づくり・ゲーム大会・ロープワーク等 <体験イベント> はしご車体験・起震車体験 <スポーツイベント> グラウンドゴルフ・JEFキックターゲット等 <その他> 放射線医学総合研究所講内特別公開・模擬店・抽選会・千葉ロッテM ★Splashショー・お笑いショー・大学合同PRコーナー等 来場者数:50,000人	来場者数の増加 (平成21年度 48,000人)	開催日時:平成23年10月16日(日) 午前9時10分～午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等	来場者数の増加 (55,000人) 平成22年度 50,000人)	総事業費 3,608	総事業費 3,693	A
◎ 5	①	若葉区民まつり	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会が、区の特性を活かしたイベントを実施し、フリーマーケット、スポーツ大会、手作りの区民音頭の発表等、区民一体となり実施する。	実行委員会 若葉区民まつり 実行委員会 補助金	若葉区 地域振興課	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会が、区の特性を活かしたイベントを実施し、フリーマーケット、スポーツ大会、区民手作りの区民音頭の発表等、区民一体となり実施 開催日:11月7日(日) 内容: (1)千城台公園 ・舞台プログラム ・子供広場 ・フリーマーケット ・模擬店 ・行政・企業PR ・産地直送市 (2)スポーツイベント ・家族バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・ゲートボール大会 ・グラウンドゴルフ大会 来場者数 59,000人	来場者数の増加 (平成21年度:54,000人)	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会が、区の特性を活かしたイベントを実施し、フリーマーケット、スポーツ大会、区民手作りの区民音頭の発表等、区民一体となり実施 開催日:11月6日(日) 内容: (1)千城台公園 ・舞台プログラム ・子供広場 ・フリーマーケット ・模擬店 ・行政・企業PR ・産地直送市 (2)スポーツイベント ・家族バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・ゲートボール大会 ・グラウンドゴルフ大会	来場者数の増加 (59,000人) (平成22年度:59,000人)	総事業費 4,142	総事業費 3,400	A
◎ 6	①	緑区ふるさとまつり	緑区内の各種団体の代表者で組織された実行委員会が、区民相互の協調と親睦、また、区民意識の醸成及び高揚を図ることを目的に、11月の第1日曜日に子どもからお年寄りまですべての人が気軽に参加できる手作りイベントを開催する。	実行委員会 緑区ふるさとまつり 実行委員会 補助金	緑区 地域振興課	開催日:11月7日(日) 会場:昭和の森 内容:ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料) 来場者数 46,500人	来場者数の増加 (平成21年度 52,500人)	開催予定日:11月6日(日) 会場:昭和の森 内容:ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体PR 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加費:一部有料)	来場者数の増加 (48,000人) (平成22年度 46,500人)	総事業費 3,333	総事業費 3,230	B

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり									
◎	7	① 美浜区民フェスティバル	地域の活性化と区民意識の醸成を図り、区の特性を活かした魅力あるまちづくりに寄与することを目的とした「区民ふれあい事業」の一環として、開催されている。区内各種団体より推薦を受けた実行委員で構成される実行委員会の主催により、毎年10月の第1日曜日に開催され、子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントとして大勢の方が参加している。	実行委員会 美浜区民フェスティバル実行委員会	補助金	美浜区地域振興課	「第18回美浜区民フェスティバル」 日時:10月3日(日) 午前9時50分～午後3時30分 会場:稲毛海浜公園 内容: 出店分科会/模擬店、フリーマーケット 音楽分科会/中学校・高等学校 レクスボ分科会/バン食い競争、昔の遊び、創作遊び、レクリエーションスポーツ、音楽劇、他 祭り分科会/太鼓・神輿・踊り・ダンス 文化分科会/呈茶席 公共公益団体	子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントの実施	「第19回美浜区民フェスティバル」 日時:10月2日(日) 午前9時50分～午後3時30分 会場:稲毛海浜公園 内容: 出店分科会/模擬店、フリーマーケット 音楽分科会/中学校・高等学校 レクスボ分科会/バン食い競争、昔の遊び、創作遊び、レクリエーションスポーツ、音楽劇、他 祭り分科会/太鼓・神輿・踊り・ダンス 文化分科会/呈茶席 公共公益団体	子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントの実施	総事業費 4,484	総事業費 4,700	B
◎	8	① けやきコンサート	音楽演奏会「けやきコンサート」を通じて、市民に対し火災予防対策等についての認識と併せ向上を図る。	市	主催	消防局予防課	5月から7月と10月から12月の第2水曜日に、30分間(12:15～12:45)コンサートを実施 5月12日(水) 中央公園(雨天のため中止) 6月9日(水) JR千葉駅東口広場(雨天のため中止) 7月14日(水) 生涯学習センター 約130人 10月13日(水) 稲毛区役所前広場 約150人 11月10日(水) JR千葉駅東口広場 約300人 12月8日(水) 生涯学習センター 約180人	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。	5月から7月と10月から12月の第2水曜日に、30分間(12:15～12:45)コンサートを実施 中央公園 2回 JR千葉駅東口広場 2回 生涯学習センター 2回 (内1回「音楽隊発足60周年&けやきコンサート」を実施)	消防音楽隊発足60周年の節目として、アクティブに市民とふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。	総事業費 0	総事業費 0	B
◎	9	① 千葉市民芸術祭(再掲)	千葉市文化連盟が市内各会場において行う、茶華道・文芸・音楽・伝統芸能・演劇・美術などの活動に対して、広報の協力や負担金交付などの支援を行う。	その他 千葉市文化連盟	共催 負担金	市民局生活文化部文化振興課	開催日程:開幕式典 平成23年2月20日(日) 各種行事 平成23年2月27日(日)～3月27日(日) 会場:千葉市民会館ほか市内9会場 内容:千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計17行事を開催する予定であったが、震災による影響のため途中中止を含め8行事が中止となる。 来場者数:28,571人	来場者数の増加 (平成21年度 43,647人)	開催日程:平成24年2月下旬～3月下旬 会場:千葉市民会館ほか市内各会場 内容:千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計17行事を開催する	来場者数の増加	総事業費 12,666	総事業費 16,642	B
◎	10	① 舞台芸術鑑賞事業(再掲)	優れた音楽、演劇等の鑑賞機会を定期的に提供することと伝統芸能の継承を目的として、舞台芸術公演を実施	その他 (財)千葉市文化振興財団	補助金	市民局生活文化部文化振興課	○創造事業 ・エイサー太鼓講座全10回(4月16日・23日、5月7日・28日、6月4日・11日、7月2日・9日・16日・23日)市民会館 参加者数:22人 ・おやじバンド向上計画全4回(6月12日・19日、7月24日・31日)文化センター 参加者数:3グループ ・沖繩コンサート琉球物語～エイサー太鼓の達人～(8月7日)若葉文化ホール 入場者数:345人 入場率70.8% ・「山口&東京ベンチーズ」～出陣OH!夏の陣オールスター祭～(9月5日)文化センター 入場者数:219人 入場率:46.6% ○伝統文化振興事業 ・能楽体験講座 全4回(12月4・25日、1月15・16日)文化センター 参加者数:8人 ・能公演(1月29日)文化センター 入場者数:123人 入場率:25.3% ・雅楽コンサート(2月17日)文化センター 入場者数:370人 入場率:74.5%	平均入場率 70%	廃止	廃止	総事業費 13,066	総事業費 0	B
◎	11	① 鑑賞事業(再掲)	優れた舞台芸術や人気の舞台芸術を低廉な価格にて提供し、市民の鑑賞の機会を提供するとともに、千葉市の文化振興を図っていく。	指定管理者 アートブレックスちば事業体		市民局生活文化部文化振興課			①はじめてのオーケストラコンサート 若葉文化ホール開館20周年を記念として、普段オーケストラの演奏会に行くことのできない子どもをもつ家庭を対象に東京フィルによるフルオーケストラコンサートを実施する。 日程:11月12日(土) 会場:若葉文化ホール 13:30開場、14:00開演 出演:東京フィルハーモニー交響楽団、指揮 藤野浩一 料金:大人2,000円、こども1,000円 ②高嶋ちさ子コンサート 例年実施し、満席となる高嶋ちさ子によるコンサート 日程:平成24年3月18日(日) 会場:千葉市民会館大ホール 14:00開場 15:00開演 料金:4,000円	①入場者500人 ②入場者1,000人	総事業費 0	総事業費 6,537	
◎	12	① 4館連携事業(再掲)	美浜文化ホール、千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホールそれぞれのホールの特性を活かした事業を展開し地域の文化の創造拠点としての文化振興を実施	指定管理者 アートブレックスちば事業体		市民局生活文化部文化振興課			①マエストロの旅 ジャンルを問わず巨匠(マエストロ)と呼ばれた芸術家の功績を称えるトリビュートイベントを実施(詳細未定) 日程:7月、10月、12月 会場:美浜文化ホール、千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホール ②6区選抜市民文化祭 平成24年度の6区選抜市民文化祭開催に向けて、サポーターとなる市民の育成を目的として全6回の市民プロデューサー講座を開催。公演企画の立案から開催までに至るプロセスをバックステージツアー、実習と多角的なプログラムで実施する。	参加者:30人	総事業費 0	総事業費 260	
◎	13	① 千葉の親子三代夏祭り	千葉市を美しくする会が、市民意識・ふるさと意識の高揚を図るために、市民総参加のもと実施するまつり	その他 千葉市を美しくする会	補助金	市民局市民部地域振興課	1 前夜祭 日時:8月21日(土) 午後1時～午後8時15分 会場:中央公園 内容:ちば和太鼓まつり、屋台村 他 入出:27,000人 2 本祭り 日時:8月22日(日) 午後1時～午後8時15分 場所:中央公園・栄町通り・千葉銀座通り・ハルコ前中央一番街・きぼーるアトリウム 内容:パレード、みこし・だし、よさこい、太鼓、千葉おどり 他 入出:35万人	入出の増加 (平成21年度 ・前夜祭25,000人 ・本祭り35万人)	本祭り 日時:8月21日(日) 午後1時～午後8時 場所:中央公園・栄町通り・千葉銀座通り・ハルコ前中央一番街・きぼーるアトリウム 内容:パレード、みこし・だし、よさこい、太鼓、千葉おどり 他 入出予想:35万人	入出の増加 (平成22年度 本祭り35万人)	総事業費 13,024	総事業費 12,869	A

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
◎ 14	① ②	ホカホカよさこい(再掲)	街そのものを舞台とし元気にさせる「よさこい」を若男女で楽しみ、中心市街地の活性化と青少年の健全な育成をはかる。	実行委員会	経済農政局 経済部 経済企画課	開催日:平成22年11月28日(日) 10:00~20:00 会場:①千葉中央公園 ②そごう千葉店京成千葉駅前広場 ③そごう千葉店センティガーデン 観覧者数:約5,000人	観覧者数:5,000人	未定	未定	総事業費 1,200	総事業費 0	B
				後援								
15	②	千葉アートネットワーク・プロジェクト(千葉大学との連携事業)	大学、美術館、商店街などの多岐にわたる様々な分野の団体が連携して、アーティストと市民が「アートと千葉の新たな結びつき」をともに模索していくプロジェクト	実行委員会	市民局 生活文化部 文化振興課	WiGAN2010「アートからはじめる学校プロジェクト」 「教室からはじめる ー5つの提案ー 展」 会期:12月23日(火)~12月3日(金) 会場:さや堂ホール、プロジェクトルーム 来場者:1,063人 *12月4日(土)~2月4日(金)はプロジェクトルームにて規模を縮小した展示を公開 トークイベント:11月27日(土)11階講堂 参加者74人 座談会:11月28日(日)1階プロジェクトルーム 参加者20人	平成23年度以降へ向けて学校を活用した文化拠点形成の計画を策定する。	平成22年度の調査およびプラン作成をふまえて、「余裕教室」の活用方法を具体的に提案してゆく。そのために、市美術館1階のプロジェクトルーム(旧ミュージアムショップ)を教室に見立てて、5つの提案の中から1つを選び短期間のワークショップとして展開する。	平成24年度以降、実際に協力校を得て余裕教室でプランを実施できるよう、プロジェクトルームにて試行を重ねつつ、協力校を開拓する。	総事業費 1,500	総事業費 1,500	B
				後援								
16	②	千葉公園「写真と楽しむ俳句展」	千葉公園の魅力をもっと多くの人に知ってもらうため、千葉公園の情景をテーマにした俳句と俳句を詠んだ情景の写真を市民から募集し、千葉公園の蓮華亭に展示する。	市	都市局 公園緑地部 中央・稲毛 公園緑地事務所	募集期間:平成23年1月17日(月)~2月10日(木) 展示期間:平成23年2月21日(月)~3月18日(金) 展示場所:千葉公園内 蓮華亭 展示点数:写真と俳句のセットで30点	市民主催の展示を実施する。	写真展、絵画展など他の企画も含めて引き続き実施する。	市民主催の展示を実施する。	総事業費 0	総事業費 0	A
				主催								
17	②	ベイサイドジャズ千葉(再掲)	街の賑わい創出や活性化のため、ジャズストリートやワークショップ・コンサートなどのジャズイベントを開催(平成10年~)	実行委員会	市民局 生活文化部 文化振興課	平成22年度は「ゆめ半島千葉国体」とタイアップし、開催時期を国体とあわせ、例年の中央地区(JR千葉駅~中央公園・文化センター周辺)に加えて、会場をJR海浜幕張駅周辺にも拡大し、各種ジャズイベントを開催した。  ・ジャズパレード(10月2日) 来場者数500人 ・デモンストレーション 来場者数計1,065人 (中央地区:7月31日、8月28日、9月12日、9月26日 幕張地区:9月27日、9月29日、9月30日、10月1日) ・ジャズトレイン(9月26日 1日2往復) 来場者数計60人 ・前夜祭コンサート(10月1日) 文化センター 来場者数449人 ・ジャズストリート(10月2日、3日) 来場者数計13,950人 10月2日は幕張地区においても実施(来場者数2,095人) ・ジャズボーカル講座(全3回) 受講者数43人 ・ふれあい音楽クリニック(8月28日、9月11日、9月12日、9月26日) ※市内の中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサート(10月3日)にて成果を発表した。 クリニック参加者数46人、コンサート来場者数350人 ・スターダストジャズ(9月5日 1日2回) 来場者数計300人  総来場者数 16,763人	総来場者数:20,000人 ジャズボーカル講座 受講生:50人(定員)	中央地区(JR千葉駅~中央公園・文化センター周辺)や幕張地区にて実施するジャズストリートを中心に、各種ジャズイベントを開催する。  ・デモンストレーション(9月) ・ジャズトレイン(9月) ・ストリートGOLD(10月1日) 文化センター ・ジャズストリート(10月1日、2日) 10月1日は幕張地区・中央公園等(無料会場) 10月2日は中央地区(有料・無料会場)にて開催 ・ジャズボーカル講座(全3回程度) 定員50人(7、9月) ・ふれあい音楽クリニック(8、9月) ※市内の小・中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサートにて成果を発表する。 ・スターダストジャズ(9月)	総来場者数:18,000人 ジャズボーカル講座 受講生:50人(定員)	総事業費 13,600	総事業費 11,786	A
				共催 補助金								
18	③	パラソルギャラリー	歩道上にパラソルを設置し、パラソル下の空間を「アートスペース」として、出展者のギャラリーやパフォーマンス空間として活用する。(平成23年度~)  ※平成22年度までの「都市景観市民フェスタ」から、事業名、事業主体等を変更。	実行委員会	都市局 都市部 まちづくり推進課	開催日:10月2日(土)~10月3日(日) 会場:中央公園プロムナード 内容:パラソルギャラリー 54団体 フォトメッセージ 62枚	長期的目標を視野に入れ、市民主体で実施可能な規模での開催を目標とする。	開催日:10月1日(土)~10月2日(日) 会場:中央公園プロムナード 内容:パラソルギャラリー	事業の継続のため、市民主体の事務局を立ち上げる。 出展組数:50組	総事業費 389	総事業費 400	B
				後援								
19	③	千葉市都市景観賞(仮称)	優れた都市景観の形成に寄与していると認められる建築物等を表彰することにより、都市景観に対する市民意識の高揚を図り、もって魅力ある街づくりに資することを目的に行う。	市	都市局 都市部 都市計画課	休止 平成21年度まで実施していた優秀建築賞は、平成23年度より都市景観の形成に寄与するものを表彰する形態に移行する。	休止	募集期間:平成23年9月~10月頃 選考委員会:平成23年12月~平成24年1月頃 表彰式開催:平成24年3月頃	都市景観に対する意識の啓発と景観資源の発掘を目指す。	総事業費 0	総事業費 905	B
				主催								
20	③	チューリップまつり	「花を育て、綺麗に咲かせること」で「人と人とのふれあいの輪」が広がり、学校と地域や家庭が協力して花を育てることにより、地域社会の発展に寄与することを目的に、地域ボランティアの方々が実行委員として、4月にチューリップまつりを開催	その他	緑区 地域振興課	・チューリップまつり 開催日:平成22年4月18日(日) 会場:ふれあい広場「野馬の里」 内容:ステージ・模擬店・花摘み  ・球根の植え付け(チューリップ) 実施日:平成22年11月8日(月) 場所:ふれあい広場「野馬の里」 内容:近隣の小・中学校生徒・幼稚園児及びボランティアによる球根の植え付け作業	近隣小・中学校と地域の結びつきをより密接にする。	・チューリップまつり 開催日:平成23年4月17日(日) 会場:ふれあい広場「野馬の里」 内容:ステージ・模擬店・花摘み  ・球根の植え付け(チューリップ) 実施日:平成23年11月上旬 場所:ふれあい広場「野馬の里」 内容:近隣の小・中学校生徒・幼稚園児及びボランティアによる球根の植え付け作業	近隣小・中学校と地域の結びつきをより密接にする。	総事業費 2,081	総事業費 2,080	B
				補助金								

(3) 伝統文化の継承・発展

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
◎	1	① 郷土芸能発表会	神楽・お囃子等の市内に伝わる郷土芸能の発表会	その他 千葉市郷土芸能保存協会	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	東日本大震災のため実施せず。	入場者数の増加 (平成21年度 387人)	開催日:平成24年3月11日(日) 場所:美浜文化ホール 内容:郷土芸能保存協会に属する団体の1年間の成果を発表する。	入場者数の増加 (平成22年度 実施せず)	総事業費 335	総事業費 333	B
◎	2	① ② 伝統文化振興事業	日本に古くから伝わる伝統芸能である、能、狂言等の普及と継承を目的に実施	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①創作狂言「千葉笑い」 中央区の千葉寺に古くから伝わる風習「千葉笑い」を題材に狂言の台本を千葉大学文学部の学生を中心に作成し、出演者を公募して、ワークショップの成果発表として、創作狂言の公演を実施。 ・ワークショップ 全5回 日程:未定 会場:文化センターリハーサル室 定員:20人  ・本番公演 日程:12月11日(日) 会場:千葉市民会館 料金:一般 2,000円、学生1,500円、子ども500円  ②郷土芸能普及事業「神楽、お囃子発表会」 市内に古くから伝わる神楽、お囃子といった郷土芸能を継承している地元サークルに依頼して、発表会を行い、市民に触れる機会を提供する。 日程:12月11日(日) 会場:千葉市民会館小ホール	入場者数 狂言 500人 郷土芸能 200人	総事業費 0	総事業費 2,219	
◎	3	① ② ふるさと教室	神楽・お囃子などの郷土芸能を通じてふるさと意識の高揚を図り、併せて郷土芸能にふれることで、郷土芸能への興味・関心を育てる。	市	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	検見川神社神楽囃子連、矢作囃子保存会がそれぞれ8回実施した。 参加者数 108人	参加者数の増加 (平成21年度 194人)	休止	休止	総事業費 256	総事業費 0	B
◎	4	① ② 千葉市民芸術祭(再掲)	千葉市文化連盟が市内各会場において行う、茶華道・文芸・音楽・伝統芸能・演劇・美術などの活動に対して、広報の協力や負担金交付などの支援を行う。	その他 千葉市文化連盟	市民局 生活文化部 文化振興課	開催日程:開幕式典 平成23年2月20日(日) 各種行事 平成23年2月27日(日)~3月27日(日) 会場:千葉市民会館ほか市内9会場 内容:千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計17行事を開催する予定であったが、震災による影響のため途中中止を含め8行事が中止となる。 来場者数:28,571人	来場者数の増加 (平成21年度 43,647人)	開催日程:平成24年2月下旬~3月下旬 会場:千葉市民会館ほか市内各会場 内容:千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計17行事を開催する	来場者数の増加	総事業費 12,666	総事業費 16,642	B
◎	5	① ② 稲毛区民まつり(再掲)	区民と関係団体が連携し、それぞれの区の地域特性を活かした多彩な催しを展開する「区民まつり」を開催することにより、主催者との連帯感の高揚と区民意識の醸成を図る。	実行委員会 稲毛区民まつり 実行委員会	稲毛区 地域振興課	開催日時:平成22年10月17日(日)午前9時10分~午後3時 会場:穴川中央公園他 内容: <文化的イベント> 稲毛区民音頭・お神楽・太鼓・マーチングバンド・フラダンス・軽音楽・歌謡ショー等 <子供向けイベント> 竹馬づくり・ミニSL・夜灯灯籠づくり・ゲーム大会・ロープワーク等 <体験イベント> はしご車体験・起震車体験 <スポーツイベント> グラウンドゴルフ・JEFキックターゲット等 <その他> 放射線医学総合研究所講内特別公開・模擬店・抽選会・千葉ロッテM ★Splashショー・お笑いショー・大学合同PRコーナー等 来場者数:50,000人	来場者数の増加 (平成21年度 48,000人)	開催日時:平成23年10月16日(日) 午前9時10分~午後3時 会場:穴川中央公園他 内容:文化的イベント、子供イベント、体験イベント、スポーツイベント等	来場者数の増加 (55,000人) 平成22年度 50,000人)	総事業費 3,608	総事業費 3,693	A
◎	6	① ② 美浜区民フェスティバル(再掲)	地域の活性化と区民意識の醸成を図り、区の特性を活かした魅力あるまちづくりに寄与することを目的とした「区民ふれあい事業」の一環として、開催されている。区内各種団体より推薦を受けた実行委員で構成される実行委員会の主催により、毎年10月の第1日曜日に開催され、子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントとして大勢の方が参加している。	実行委員会 美浜区民フェスティバル 実行委員会	美浜区 地域振興課	「第18回美浜区民フェスティバル」 日時:10月3日(日) 午前9時50分~午後3時30分 会場:稲毛海浜公園 内容: 出店分科会/模擬店、フリーマーケット 音楽分科会/中学校・高等学校 レクスボ分科会/バン食い競争、昔の遊び、創作遊び、レクリエーションスポーツ、音楽劇、他 祭り分科会/太鼓・神輿・踊り・ダンス 文化分科会/呈茶席 公共公益団体	子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントの実施	「第19回美浜区民フェスティバル」 日時:10月2日(日) 午前9時50分~午後3時30分 会場:稲毛海浜公園 内容: 出店分科会/模擬店、フリーマーケット 音楽分科会/中学校・高等学校 レクスボ分科会/バン食い競争、昔の遊び、創作遊び、レクリエーションスポーツ、音楽劇、他 祭り分科会/太鼓・神輿・踊り・ダンス 文化分科会/呈茶席 公共公益団体	子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントの実施	総事業費 4,484	総事業費 4,700	B
◎	7	① ② 千葉の親子三代夏祭り(再掲)	千葉市を美しくする会が、市民意識・ふるさと意識の高揚を図るために、市民総参加のもと実施するまつり	その他 千葉市を美しくする会	市民局 市民部 地域振興課	1 前夜祭 日時:8月21日(土) 午後1時~午後8時15分 会場:中央公園 内容:ちば和太鼓まつり、屋台村 他 入出:27,000人  2 本祭り 日時:8月22日(日) 午後1時~午後8時15分 場所:中央公園・栄町通り・千葉銀座通り バルコ前中央一番街・きぼーるアトリウム 内容:パレード、みこし・だし、よさこい、太鼓、千葉おどり 他 入出:35万人	入出の増加 (平成21年度 前夜祭25,000人 ・本祭り 35万人)	本祭り 日時:8月21日(日) 午後1時~午後8時 場所:中央公園・栄町通り・千葉銀座通り・バルコ前中央一番街・きぼーるアトリウム 内容:パレード、みこし・だし、よさこい、太鼓、千葉おどり 他 入出予想:35万人	入出の増加 (平成22年度 本祭り 35万人)	総事業費 13,024	総事業費 12,869	A

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
8	②	郷土芸能の後継者養成	地域の郷土芸能を伝承する千葉市郷土芸能保存協会に属する団体が、神楽をはじめ、お囃子・獅子舞等の後継者を養成する。	その他 千葉市郷土芸能保存協会	教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習振興課	千葉市郷土芸能保存協会加盟団体(12団体)が、それぞれ後継者育成事業を行った。 参加者数 219人	参加者数の増加 (平成21年度 233人)	千葉市郷土芸能保存協会加盟団体(12団体)がそれぞれ、後継者育成事業を行う。	参加者数の増加 (平成22年度 219人)	総事業費 944	総事業費 836	B
				補助金								

## 基本施策2 文化芸術に親しむ市民の裾野の拡大

### (1)文化施設の魅力向上

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
1	①	ミュージアムトライアングル連携事業	郷土博物館、美術館、科学館の3つのミュージアムが連携し、ネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。	市	教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習振興課	・郷土博物館、美術館、科学館の3館の入館チケット持参者に対して、相互割引を行った。 平成22年度 380人 ・広報課配信の千葉市メールマガジンの「ミュージアム情報」に、相互割引の案内と各館のイベント情報を掲載した。 ・千葉市中央地区商店街組合発行の「千葉市中心市街地チークンパスポート！」に、3館とミュージアムトライアングルを紹介した。 ・「中央区ふるさとまつり」にて、3館でブースを出展した。	ミュージアムトライアングル連携事業等の一体的な展開による利用者の増加 (平成21年度 232人)	・展示、講座、ワークショップ等におけるネットワークの強化 ・郷土博物館、美術館、科学館の3館の入館チケット持参者に対して、相互割引を行う。 ・広報課配信の千葉市メールマガジンの「ミュージアム情報」に、相互割引の案内と各館のイベント情報を掲載する。	ミュージアムトライアングル連携事業等の一体的な展開による利用者の増加 (平成22年度 380人)	総事業費 0	総事業費 0	B
2	① ②	美浜マンスリー・クラシック	地域の芸術文化の創造拠点として、美浜文化ホールにおいて、芸術性の高いクラシック音楽を提供する。クラシック、日本歌謡、童謡、映画音楽、ミュージカルの名曲の中から、その月に誕生した音楽家・作曲家の作品をとり上げ、多彩なアーティストたちの演奏によりお送りする。	指定管理者 アートプレックスちば事業体	市民局生活文化部文化振興課	『美浜フォーシーズンズ・クラシック』 四季折々に表情を変える日本の景色を、クラシックやミュージカル音楽の名曲たちで表現。音楽ホール(150席)からメインホール(350席)に場所を変え、日本の四季を奏でる。 主催:アートウインド運営企業体 日程・入場者数: 7月16日(金) Summer 248人 10月16日(土) Autumn 220人 12月17日(金) Winter 310人 3月25日(金) Spring ※地震による夜間閉鎖の為中止 1公演あたり入場者数:259人	入場者数: 1公演あたり320人	『美浜マンスリー・クラシック～誕生月の音楽家達の名曲を集めて～』 毎月その月生まれのお作家の作品のみを演奏する演奏会 主催:アートプレックスちば事業体 日程:毎月最終木曜日 会場:美浜文化ホール 音楽ホール	入場者数: 1公演あたり145人	総事業費 3,800	総事業費 3,838	B
3	① ②	美浜アートレクチャーなるほど! Theライブ	様々な芸術ジャンルに焦点をあて、レクチャー形式のワークショップとライブ演奏を組み合わせた新しい試みのコンサートを実施する。ジャズ、落語、日本舞踊、クラシックなどの分野で活躍し、美浜文化ホールとなじみの深いアーティストを講師・出演者に迎え、様々な音楽の醍醐味を新発見していただく。	指定管理者 アートプレックスちば事業体	市民局生活文化部文化振興課	平成21年度に引き続き、2回実施 主催:アートウインド運営企業体 会場:美浜文化ホール メインホール 内容:各回3部構成 第1部 出演者によるレクチャー・講座・語りなど 第2部 実演による様々な表現を披露、魅力紹介 第3部 コンサート ※5月の回は第3部にフィルムコンサートを開催 日程・入場者数: 4月23日(金) クラシック「室内楽で感じる、クラシックの世界」260人 5月22日(土) J-POP「J-POPの女王」美空ひばり 300人 1公演あたり入場者数:280人	入場者数: 1公演あたり300人 地域の皆様に、芸術の素晴らしさを学んでいただくことにより、芸術文化の必要性、さらには公共ホールの重要性を知っていただく。	1回実施予定 主催:アートプレックスちば事業体 会場:美浜文化ホール メインホール 内容:バレエをテーマに、バレエの楽しみ方を紹介 日程:6月10日(金)	入場者数: 1公演あたり250人 地域の皆様に、芸術の素晴らしさを学んでいただくことにより、芸術文化の必要性、さらには公共ホールの重要性を知っていただく。	総事業費 1,580	総事業費 1,050	B
4	① ②	舞台芸術鑑賞事業(再掲)	優れた音楽、演劇等の鑑賞機会を定期的に提供することと伝統芸能の継承を目的として、舞台芸術公演を実施	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化部文化振興課	○創造事業 ・エッセー大講座全10回(4月16日・23日、5月7日・28日、6月4日・11日、7月2日・9日・16日・23日)市民会館 参加者数:22人 ・おやじハント向上計画全4回(6月12日・19日、7月24日・31日)文化センター 参加者数:3グループ ・沖縄コンサート琉球物語～エッセー大講座の達人～(8月7日)若葉文化ホール 入場者数:345人 入場率70.8% ・「山口 & 東京ペンチス」～出陣OH!夏の間オーディス祭～(9月5日)文化センター 入場者数:219人 入場率:46.6% ○伝統文化振興事業 ・能楽体験講座 全4回(12月4・25日、1月15・16日)文化センター 参加者数:8人 ・能公演(1月29日)文化センター 入場者数:123人 入場率:25.3% ・雅楽コンサート(2月17日)文化センター 入場者数:370人 入場率:74.5%	平均入場率 70%	廃止	廃止	総事業費 13,066	総事業費 0	B
5	① ②	鑑賞事業(再掲)	優れた舞台芸術や人気の舞台芸術を低廉な価格にて提供し、市民の鑑賞の機会を提供するとともに、千葉市の文化振興を図っていく。	指定管理者 アートプレックスちば事業体	市民局生活文化部文化振興課			①はじめてのオーケストラコンサート 若葉文化ホール開館20周年を記念として、普段オーケストラの演奏会に行くことのできない子どもをもつ家庭を対象に東京フィルによるフルオーケストラコンサートを実施する。 日程:11月12日(土) 会場:若葉文化ホール 13:30開場、14:00開演 出演:東京フィルハーモニー交響楽団、指揮 藤野浩一 料金:大人2,000円、こども1,000円 ②高嶋ちさ子コンサート 例年実施し、満席となる高嶋ちさ子によるコンサート 日程:平成24年3月18日(日) 会場:千葉市民会館大ホール 14:00開場 15:00開演 料金:4,000円	①入場者500人 ②入場者1,000人	総事業費 0	総事業費 6,537	
6	① ②	美術館展示(再掲)	優れた美術品の鑑賞機会を多くの市民に提供するため、来館者の希望や開催意義などを考慮しつつテーマを設定し、それに基づいた展示を行う。また関連する講演会や講座、イベントなどを開催する。	指定管理者 (財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化部文化振興課	企画展「伊藤若冲ー アナザーワールドー」展ほか5展覧会を実施 所蔵作品展「江戸みやげ～所蔵作品名品選」ほか4展覧会を実施 講演会など-企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施 展覧会総入場者数:211,920人	展覧会総入場者数: 96,000人	企画展「ポストン美術館浮世絵名品展 錦絵の黄金時代」ほか5展覧会を実施 所蔵作品展「江戸の美術」ほか4展覧会を実施 講演会など-企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施	展覧会総入場者数: 106,000人	総事業費 169,431	総事業費 138,385	A

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり	指定管理者								
7	① ②	4館連携事業 (再掲)	美浜文化ホール、千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホールそれぞれのホールの特性を活かした事業を展開し地域の文化の創造拠点としての文化振興を実施	指定管理者	アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①マエストロの旅 ジャンルを問わず巨匠(マエストロ)と呼ばれた芸術家の功績を称えるトリビュートイベントを実施(詳細未定) 日程:7月、10月、12月 会場:美浜文化ホール、千葉市民会館、文化センター、若葉文化ホール  ②6区選抜市民文化祭 平成24年度の6区選抜市民文化祭開催に向けて、サポーターとなる市民の育成を目的として全6回の市民プロデューサー講座を開催。公演企画の立案から開催までに至るプロセスをバックステージツアー、実習と多角的なプログラムで実施する。	参加者:30人	総事業費 0	総事業費 260	
8	②	美術品の収集	1.房総ゆかりの作品、2.近世から近代の日本画版画、3.現代美術という収集基本方針に沿って、美術館の所蔵品として良質な美術品の収集をおこなう。なお美術品の収集にあたっては、外部の学識者で組織される千葉市美術品等収集審査会において審査を受ける。	市		市民局 生活文化部 文化振興課	千葉市美術品等収集審査会の審査を経て、下記のとおり作品を収集することとした。 寄贈作品:19件 計12,680千円 寄託作品:36件 計79,426千円	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。	美術館の収蔵作品に相応しい良質な美術品を収集する。	総事業費 352	総事業費 432	B
◎	9	③	オストメイト対応トイレの整備	各文化施設にオストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)対応設備を設置する。	市		市民局 生活文化部 文化振興課		京業銀行文化プラザ及び市民ギャラリーいなが内の多目的トイレに、簡易型のオストメイト対応設備を設置する。	各1か所ずつ設置	総事業費 -	総事業費 500	

(2)参加型・体験型活動の推進

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり	指定管理者								
◎	1	①	市民参加促進事業 (事業の一部該当: 歴史探索ウォーキング)	いずみグリーンビレッジ事業の推進にあたり、計画地域内にある美しい自然、歴史、文化等をより多くの方に再認識してもらうために開催する。 (自然については、「自然観察会」を実施)	市	経済農政局 農政部 農政センター 農業経営支援課	グリーンビレッジ協力員に講師を依頼し、下田農業ふれあい館から古道をたどり、大宮神社などの大井戸町周辺の歴史的建造物を見学し、下田農業ふれあい館に戻る。 開催日時:平成22年7月16日(金) 9:00~12:00 実施内容: ①花見川区の概要について ②幕張地域の史跡を訪ねる(三代王神社、宝蔵院、子守神社等) ③千種町工業団地内の企業を訪ねる(大和鋼帯、伸和ピアノ)。 募集人数:41人 参加者数:17人	年度内開催(1回) 参加募集人数20人を予定 開催時期及びコースは調整中	年度内開催(1回) 参加人数:20人	総事業費 21	総事業費 21		
◎	2	①	花見川区民ふれあい事業 (花見川区の歴史と産業をたずねて)	日頃住んでいる、地域の工場等を訪ね、物を作る過程を見学し、物の大切さを学ぶ。 地域の史跡の成り立ちを学び、郷土千葉市及び居住地域の地域愛を育てると共に、住民相互の親睦を深める。	実行委員会	花見川区 地域振興課	花見川区内の企業及び史跡を訪ね、花見川区を再認識する。 対象:花見川区在住の住民 開催日時:平成22年11月17日(水)・18日(木) 各日10:00~17:00 実施内容: ①花見川区の概要について ②幕張地域の史跡を訪ねる(三代王神社、宝蔵院、子守神社等) ③千種町工業団地内の企業を訪ねる(大和鋼帯、伸和ピアノ)。 募集人数:30人 参加者数:29人(延べ58人)	延べ参加者数:120人	年度内開催(1回) 参加募集人数30人を予定 開催時期及びコースは未定	延べ参加人数:60人	総事業費 195	総事業費 110	C
◎	3	① ②	小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業	バスでの送迎と鑑賞プログラムの設置により、学校団体の利用を促し、子どもたちに美術鑑賞の機会を用意する。	指定管理者	(財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	参加校数:20校 1,318人	鑑賞プログラムを工夫し、子どもたちに美術により興味を持ってもらう。	参加校:20校 1,100人	総事業費 1,235	総事業費 1,155	B
◎	4	① ②	小・中学校音楽鑑賞教室	小・中学校の体育館等において、プロのオーケストラの演奏会等を実施	市	教育委員会 事務局 学校教育部 指導課	実施日:6月4日(金)・7月1日(木)・2日(金)・10月6日(水)・7日(木)10公演 参加校:小学校4校 中学校11校 計15校 来場者数:3,972人	来場者数:4,500人	実施日:5月31日(火)・6月1日(水)・2日(木)・7月5日(火)・6日(水)・7日(木)・10月4日(火)・5日(水)・6日(木)・18日(火)10公演 参加校:小学校3校 中学校15校 計18校	来場者数:4,500人	総事業費 8,775	総事業費 8,821	A

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
◎	5	① ② 小・中学生のためのオーケストラコンサート	市内のホールにおいて小・中学生のためのオーケストラの演奏会等を実施	千葉市管弦楽団	教育委員会事務局 学校教育部指導課	実施日:平成23年2月5日(土)・6日(日) 4公演 会場:千葉県文化会館 来場者数:3,446人	来場者数:5,000人	実施日:平成24年2月4日(土)・5日(日) 5公演 会場:千葉市民会館	来場者数:4,900人	総事業費 168	総事業費 168	A
◎	6	① ② 千葉アートネットワーク・プロジェクト(千葉大学との連携事業)(再掲)	大学、美術館、商店街などの多岐にわたる様々な分野の団体が連携して、アーティストと市民が「アートと千葉の新たな結びつき」をともに模索していくプロジェクト	千葉アートネットワーク・プロジェクト実行委員会	市民局生活文化部文化振興課	WiGAN2010「アートからはじめる学校プロジェクト」 「教室からはじめる 5つの提案— 展」 会期:12月23日(火)～12月3日(金) 会場:さや堂ホール、プロジェクトルーム 来場者:1,063人 *12月4日(土)～2月4日(金)はプロジェクトルームにて規模を縮小した展示を公開 トークイベント:11月27日(土)11階講堂 参加者74人 座談会:11月28日(日)1階プロジェクトルーム 参加者20人	平成23年度以降へ向けて学校を活用した文化拠点形成の計画を策定する。	平成22年度の調査およびプラン作成をふまえて、「余裕教室」の活用方法を具体的に提案してゆく。そのために、市美術館1階のプロジェクトルーム(旧ミュージアムショップ)を教室に見立てて、5つの提案の中から1つを選び短期間のワークショップとして展開する。	平成24年度以降、実際に協力を得て余裕教室でプランを実施できるよう、プロジェクトルームにて試行を重ねつつ、協力校を開拓する。	総事業費 1,500	総事業費 1,500	B
◎	7	① ② ④ ちばZOOフェスタ	動物・動物園をテーマとした文化芸術活動の発表の場を提供し、新しい動物園の利用方法の提案の場とする。	市	都市局公園緑地部動物公園管理課	開催日:11月6日(土)～7日(日) 2日間 会場:園内各所 内容:市民参加による動物・動物園に関する下記カテゴリの文化芸術活動の発表 ・ギャラリー部門(写真、絵画、各種クラフト作品の個展ブース貸し) ・パフォーマンス部門(演劇、音楽他各種パフォーマンス) ・映像・デジタル部門(映像作品、デジタルアート作品) ・研究発表部門[新設](小・中・高対象 生物、環境に係る研究発表) 期間中入園者:10,171人	入園者数の増加(平成21年度期間中入園者:6,140人) 出展参加者、参加作品の増加(平成21年度) ・ギャラリー部門 12団体 ・パフォーマンス部門 10団体 ・映像・デジタル部門 映像9作品 ・デジタルアート35作品)	開催日:11月5日(土)～6日(日) 2日間 会場:園内各所 内容:市民参加による動物・動物園に関する下記カテゴリの文化芸術活動の発表 ・ギャラリー部門(写真、絵画、各種クラフト作品の個展ブース貸し) ・パフォーマンス部門(演劇、音楽他各種パフォーマンス) ※当日参加 アニマルコスプレコンテスト ・映像・デジタル部門(映像作品、デジタルアート作品) ・研究発表部門[新設](小・中・高校生対象 生物、環境に係る研究発表)	入園者数の増加(平成22年度期間中入園者:10,171人) 参加作品の内容充実	総事業費 2,000	総事業費 2,000	A
◎	8	① ③ 千葉市民文化大学	専門的、体系的、継続的な講座を8学科実施する本講座と、本講座の冬休みを行う冬季集中講座によって市民の高い学習意欲に応える。	アートプレックスちば事業体	市民局生活文化部文化振興課	主催:(財)千葉市文化振興財団 ・本講座 受講者数 960人 8学科各18回(計144回) 前期 平成22年5月～7月 後期 平成22年8月～11月 ・冬季集中講座 受講者数 906人 10学科各3回(計30回) 平成23年1月～3月 ・特別講座Ⅰ 受講者数 338人 1学科各1回 平成22年12月3日 ・特別講座Ⅱ 受講者数 12人 1学科各3回 平成22年12月7日・14日・21日 ※夜間講座は、講義テーマを変え20年度、21年度と実施してきたが、受講者数が少なく、夜間の講座へのニーズがないため休止にする。新規に市民文化大学周知を図るため、ホールで特別講座Ⅰを、並びに少人数制の集中講座として特別講座Ⅱを実施する。	会場の定員数増により、更なる受講者数の増加に努める。(平成21年度受講者数: ・本講座 1,079人 ・冬季集中講座 998人)	主催:アートプレックスちば事業体 ・本講座 募集人数 1,120人 8学科各20回(計160回) 前期 平成23年5月～8月 後期 平成23年9月～11月 ・特別講座Ⅰ 募集人数 300人 1学科1回 平成24年2～3月実施予定 ・特別講座Ⅱ 募集人数 20人 1学科各3～4回 平成23年11～12月実施予定 ※冬季集中講座の応募状況は、その申込者の約8割が本講座受講者であり、また、1月～2月という時期が大学の通常の試験や入学試験時期とも重なり、講師の確保が困難であることから、冬季集中講座を休止する。 また、千葉市民文化大学の周知を図るためのホールでの特別講座Ⅰと、自主学習グループづくり促進のための少人数の特別講座Ⅱを引き続き実施する。	本講座の回数を増やし、継続性を高め、減少傾向にある受講者数の増加に努める。(平成22年度受講者数:本講座960人)	総事業費 17,592	総事業費 17,424	B
◎	9	① ③ 若葉文化講座	地域の芸術文化の創造拠点として、若葉文化ホールにおいて、若葉区内の大学や市民文化大学の講師による講座を開設する。講座内容は市民に関心の高いテーマを設定して実施する。	(財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化部文化振興課	音楽をテーマとした演奏と解説 テーマ:もっど!もっど! ショパン ショパンと出会うレクチャーコンサート 日程:受講者数:9月4日(土) 70人 9月25日(土) 138人 定員:104人/日	1回あたり受講者数:150人	廃止	廃止	総事業費 453	総事業費 0	B
◎	10	① ③ 千葉市ことぶき中学校	ことぶき中学校は、高齢化が進んでいく社会状況において、高齢者等が変化化する社会環境の中で必要とされる知識・技能を自らで習得するとともに、日頃の学習の成果をボランティア活動に生かしたり、仲間づくりを行うなど、高齢者等の生きがいづくりと地域の活性化を図るための学習と活動の場を提供する。	社会福祉法人千葉市社会福祉事業団	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課	【教養講座、地域活動リーダー養成講座及び専門講座】 内容:教養講座 市の施策と現状、裁判員制度等 地域活動リーダー養成講座 地域リーダーとは等、専門講座(美術)デッサン・油彩画の実習と講義(陶芸)ろくろの基礎理論と実習 授業日数:教養講座 29日、地域活動リーダー養成講座4日、専門講座 32日 学生数:美術学科114人(うち、1学年57人、2学年57人)、陶芸学科114人(うち、1学年58人、2学年56人) 【公開講座】 内容:大学の事業普及に資するため、一般市民を対象として、美術及び福祉健康の講座を実施 開催日:美術講座 8月26日 27日の2日間 10時～12時 会場:ことぶき中学校教室1・2 参加者数:50人 【多世代交流講座】 内容:学生と小学校高学年との世代間交流として、陶芸及び園芸の講座を実施 開催日:陶芸講座A 7月26日 27日、B 7月28日 29日 10時～12時 会場:陶芸講座 ことぶき中学校陶芸作業室・実習室 参加者数:陶芸講座A 49人(うち、小学生 24人)、陶芸講座B 50人(うち、小学生24人)	【教養講座及び専門講座】 入学者数: 美術学科60人、陶芸学科60人 【公開講座】 参加者数:100人 【多世代交流講座】 参加者数: 96人(小学生48人、学生48人)	【ボランティア実践コース】 内容:福祉健康学科(地域活動養成講座、介護の理論と実習、地域活動実習など) 園芸学科(果菜・葉根菜の作型と品種、野菜生産学習、花の栽培、花づくりなど) 【創造活動コース】 内容:美術学科(日本・西洋美術史、デッサンの基礎理論と実習、油彩画の基礎理論と実習など) 陶芸学科(作陶の基礎理論と実習・素地土の歴史、成形の技法など) 授業日数:年間28日 学生数:福祉健康学科60人(30人×2クラス)、園芸学科60人(30人×2クラス) 美術学科60人(30人×2クラス)、陶芸学科:60人(30人×2クラス) 【多世代交流講座】 内容:学生と小学校高学年との世代間交流を目的とした講座を実施 開催日:7月末の2日間 2時間 会場:ことぶき中学校教室 参加者数:学生 30人×講座数、小学生30人×講座数 【自主事業】 内容:自主事業 高齢者福祉の推進に資することを目的とした講座や市民を対象とした公開講座を実施予定	【ボランティア実践コース】 入学者数: 福祉健康学科60人、園芸学科60人 【創造活動コース】 入学者数: 美術学科60人、陶芸学科60人 【多世代交流講座】 参加者数: 60人(小学生30人、学生30人)×講座数 【公開講座】 参加者数:100人	総事業費 59,755	総事業費 29,243	B
◎	11	① ④ ちば市国際ふれあいフェスティバル	外国人市民と市民の交流の場を創出するとともに、国際交流・国際協力団体相互の連携を図る。また、世界の国々や異文化の存在を肌で感じてもらい、国際交流・国際協力への興味・関心を高めてもらう。	ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会	総務局市長公室国際交流課	開催日:平成23年2月19日(土) 会場:Qiball 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザー、世界の料理紹介・販売、体験コーナーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など 来場者数:2,000人	来場者数:2,000人	開催日:平成24年2月19日(日) 会場:Qiball 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザー、世界の料理紹介・販売、体験コーナーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など	来場者数:2,000人	総事業費 991	総事業費 997	A

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり								
◎	12	① ④ 男女共同参画センターまつり(H22まで女性センターまつり)	千葉市男女共同参画週間の期間中に、市民団体や市民との協働により、男女共同参画に関する講座や講演会、展示などを行うイベントを開催する。	(財)千葉市文化振興財団 共催	市民局 生活文化部 男女共同参画課	開催日:平成22年12月11日(土)・12日(日) 会場:千葉市女性センター 内容:女性センターまつりを開催(女性センター主催企画及び市民企画) 来場者数:2,647人 ・千葉市女性センターまつり実行委員会との共催にて実施	来場者数の増加 (平成21年度 3,231人)	開催日:平成23年12月10日(土)・11日(日) 会場:千葉市男女共同参画センター 内容:男女共同参画センターまつりを開催(男女共同参画センター主催企画及び市民企画) 来場者数:3,000人(見込) ・(仮称)千葉市男女共同参画センターまつりホール企画実行委員会との共催にて実施	来場者数の増加 (平成22年度 2,647人)	総事業費 949	総事業費 1,535	B
◎	13	② ③ ④ 千葉市青少年ミュージカル事業	青少年の参加による創作ミュージカルの公演 隔年実施(千葉市民オペラ公演との隔年行事)	(財)千葉市文化振興財団 共催 補助金	市民局 生活文化部 文化振興課	隔年事業のため実施せず。	隔年事業のため実施せず。	休止	休止	総事業費 0	総事業費 0	
◎	14	② ③ ④ 文化ふれあい振興事業	青少年及び市民がより身近なところで文化芸術活動に参加できる機会の提供や、文化芸術に親しむ市民の裾野の拡大につながる芸術文化活動への参加の機運を醸成し、本市の芸術文化の振興を図る。	(財)千葉市文化振興財団 補助金	市民局 生活文化部 文化振興課			①千葉市青少年太鼓 日本の伝統楽器である和太鼓を取り上げて、その魅力に触れてもらうと共に、プロの講師により奏法を習得し次代に継承、普及していくことを目的として実施する。 ・ワークショップ 日程:1月14日・15日・21日・22日・28日・29日の午前午後(全12回程度) 会場:若葉文化ホール 受講予定者数:50人 ・公演 日程:平成24年2月12日(日) 会場:若葉文化ホール 入場予定者数:500人 ②ストリートダンス体験講座 子どもから20歳代までの人気のあるストリートダンスをテーマに実施する。ストリートダンスは、一人で踊るケースから複数で踊るケースまで、幅広い技術が必要とすることから、参加者の個性を生かすことによりチームワークの必要性を体験してもらう。 ・ワークショップ 日程:7月27日・28日・29日、8月3日・4日・5日・10日・11日・12日・18日 会場:千葉市文化センター リハーサル室 受講予定者数:60人 ・公演 日程:8月19日(金) 会場:千葉市民会館 大ホール 入場予定者数:650人	① 受講者数:50人 入場者数:500人 ② 受講者数:60人 入場者数:650人	総事業費 0	総事業費 8,635	
◎	15	② ③ ④ 子ども演劇教室・公演 シニア演劇教室・公演 (隔年で実施)	舞台芸術を体験・学ぶを通じて、芸術文化の楽しさを感じ、21世紀を担う芸術文化の振興を支える人材の育成を図る。	指定管理者 アートプレックスちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課	子ども演劇体験教室 主催:(財)千葉市文化振興財団 ・体験教室(全18回) プロの演出家や各専門家を講師に迎え指導を行った。 開催日:6月12・19日、7月28・31日、8月23・30日、9月4・20・23日、10月9・11日、11月3・13・20・23・27日、12月4・11日 会場:文化センター スタジオ 参加者数:45人 ・発表会 体験教室で習得した演技を発表する舞台演劇を開催した。 開催日:12月17日 ケネプロ 12月18日 本番 会場:文化センター アートホール 演目:シンデレラ 入場者数:329人	参加者数:50人	指定管理者アートプレックスちば事業体の自主事業として、子どもだけでなくシニアにも対象を広げて継続予定。 平成24年度から開始するシニア演劇教室・公演の調査・研究を行う。	シニア演劇意識調査アンケート:1,000件	総事業費 2,846	総事業費 0	B
◎	16	② ③ ④ バイサイドジャズ千葉(再掲)	街の賑わい創出や活性化のため、ジャズストリートやワークショップ・コンサートなどのジャズイベントを開催(平成10年～)	(財)千葉市文化振興財団・バイサイドジャズ千葉実行委員会 共催 補助金	市民局 生活文化部 文化振興課	平成22年度は「ゆめ半島千葉国体」とタイアップし、開催時期を国体と合わせ、例年の中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺)に加えて、会場をJR海浜幕張駅周辺にも拡大し、各種ジャズイベントを開催した。 ・ジャズパレード(10月2日) 来場者数500人 ・デモンストレーション 来場者数計1,065人 (中央地区:7月31日、8月28日、9月12日、9月26日 幕張地区:9月27日、9月29日、9月30日、10月1日) ・ジャズストリート(9月26日 1日2往復) 来場者数計60人 ・前夜祭コンサート(10月1日) 文化センター 来場者数449人 ・ジャズストリート(10月2日、3日) 来場者数計13,950人 10月2日は幕張地区においても実施(来場者数2,095人) ・ジャズボーカル講座(全3回) 受講者数43人 ・ふれあい音楽クリニック(8月28日、9月11日、9月12日、9月26日) ※市内の小・中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサート(10月3日)にて成果を発表した。 クリニック参加者数46人、コンサート来場者数350人 ・スターダストジャズ(9月5日 1日2回) 来場者数計300人 総来場者数 16,763人	総来場者数:20,000人 ジャズボーカル講座 受講生:50人(定員)	中央地区(JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺)や幕張地区にて実施するジャズストリートを中心に、各種ジャズイベントを開催する。 ・デモンストレーション(9月) ・ジャズストリート(9月) ・ストリートGOLD(10月1日) 文化センター ・ジャズストリート(10月1日、2日) 10月1日は幕張地区・中央公園等(無料会場) 10月2日は中央地区(有料・無料会場)にて開催 ・ジャズボーカル講座(全3回程度) 定員50人(7、9月) ・ふれあい音楽クリニック(8、9月) ※市内の小・中・高校生を対象に、プロの音楽家による指導を行った後、ふれあい音楽コンサートにて成果を発表する。 ・スターダストジャズ(9月)	総来場者数:18,000人 ジャズボーカル講座 受講生:50人(定員)	総事業費 13,600	総事業費 11,786	A
◎	17	③ 美術館講座(市民美術講座)	美術品についての理解を進め、美術館をより楽しむための講座。学芸員が中心となって、スライドを用いながらわかりやすく説明する。	(財)千葉市教育振興財団 指定管理者	市民局 生活文化部 文化振興課	美術館館長による講座など10回を開催 参加者数:952人	参加者数:500人(各回50人)	美術館館長による講座など10回を開催	参加者数:500人(各回50人)	総事業費 0	総事業費 0	B

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
				市の関わり								
◎ 18	③ ④	千葉市民オペラ公演	市民団体が主体となり、公募出演者とともにオペラ公演を実施し、市民に鑑賞機会を提供する。隔年実施(千葉市青少年ミュージカルとの隔年行事)	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	開催日:平成23年3月6日(日) 内容:History of 千葉市民オペラ 会場:千葉県文化会館 大ホール 入場者数:1,236人	入場者数の増加 (前回平成20年度 1,428人)	休止	休止	総事業費 17,518	総事業費 0	B
◎ 19	③ ④	市民による第九特別演奏会	市民団体が主体となり、公募出演者とともに第九演奏会を開催し、市民に鑑賞機会を提供する。(3年ごとに実施)	その他 千葉市音楽協会	市民局 生活文化部 文化振興課	3年ごとに開催する行事のため実施せず。	3年ごとに開催する行事のため実施せず。	3年ごとに開催する行事のため実施せず。	3年ごとに開催する行事のため実施せず。	総事業費 0	総事業費 0	
◎ 20	③ ④	舞台芸術創造事業	公募により市民を募集して、舞台芸術の技術を習得すると共に、プロとの交流を深めながら、新たな千葉文化の創造を発信していく。	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①ソロギターを学ぶ(ワークショップ) ギターの奏法で主旋律と伴奏を一人で演奏する技術の習得を目指す。 日程:6月4日、18日、7月2日、9日、16日、23日 13:30~15:00 会場:文化センタースタジオ1 講師:南澤大介 受講料:10,000円 定員:20人 ②ソロギターの調べ 日時:8月6日(土) 13:30開場、14:00開演 会場:千葉市民会館小ホール 料金:500円 入場予定数:150人	①受講者数:20人 ②入場者数:150人	総事業費 0	総事業費 781	
◎ 21	③ ④	文化ゼミナール事業(再掲)	市民参加による舞台芸術の体験、学習する機会を設けて、地域住民による舞台芸術の創造、発信を行っていく。	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①舞台セミナー・ワークショップ 日程:7月~8月午前午後(全7回程度) 会場:千葉市文化センター 受講予定者数:20人 ②子ども育成プログラム「童謡お話コンサート」 日程:8月20日(土) 会場:若葉文化ホール 入場予定者:250人 ③ホールで思いっきり練習してみよう 日程:9月、平成24年2月 会場:若葉文化ホール 募集団体:各回5団体程度 ④若葉アーティストコンサート 日程:全3回、9月、11月、平成24年1月 会場:若葉文化ホール 入場予定者:各回150人 ⑤若葉舞台芸術体験教室 日程:全10日、7月~8月、11月~12月 会場:若葉文化ホール第2リハーサル室 定員:各回15人 ⑥わかば芸能フェスティバル 日程:全2回、5月、10月 会場:若葉文化ホール 応募団体:各種サークル5団体	①受講者数:20人 ②入場者数:250人 ③参加団体:各回5団体 ④入場者数:各回150人 ⑤受講者数:各回15人 ⑥参加団体:各回5団体	総事業費 0	総事業費 4,151	
◎ 22	④	千葉公園「写真と楽しむ俳句展」(再掲)	千葉公園の魅力をもっと多くの人に知ってもらうため、千葉公園の情景をテーマにした俳句と俳句を詠んだ情景の写真を市民から募集し、千葉公園の蓮華亭に展示する。	市 主催	都市局 公園緑地部 中央・稲毛 公園緑地事務所	募集期間:平成23年1月17日(月)~2月10日(木) 展示期間:平成23年2月21日(月)~3月18日(金) 展示場所:千葉公園内 蓮華亭 展示点数:写真と俳句のセットで30点	市民主催の展示を実施する。	写真展、絵画展など他の企画も含めて引き続き実施する。	市民主催の展示を実施する。	総事業費 0	総事業費 0	A
◎ 23	③ ④	伝統文化振興事業(再掲)	日本に古くから伝わる伝統芸能である、能、狂言等の普及と継承を目的に実施	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			①創作狂言「千葉笑い」 中央区の千葉寺に古くから伝わる風習「千葉笑い」を題材に狂言の台本を千葉大学文学部の学生を中心に作成し、出演者を公募して、ワークショップの成果発表として、創作狂言の公演を実施。 ・ワークショップ 全5回 日程:未定 会場:文化センターリハーサル室 定員:20人 ・本番公演 日程:12月11日(日) 会場:千葉市民会館 料金:一般 2,000円、学生1,500円、子ども500円 ②郷土芸能普及事業「神楽、お囃子発表会」 市内に古くから伝わる神楽、お囃子といった郷土芸能を継承している地元サークルに依頼して、発表会を行い、市民に触れる機会を提供する。 日程:12月11日(日) 会場:千葉市民会館小ホール	入場者数 狂言 500人 郷土芸能 200人	総事業費 0	総事業費 2,219	

基本施策3 文化を創造する人材の育成

(1)子どもの文化芸術活動の充実

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
◎	1	① 明るい選挙啓発作品の募集	ポスター・標語・書き初めの選挙啓発作品を募集して、入賞作品を展示することにより、明るい選挙と投票率の向上を呼びかける。	市 ----- 主催	選挙管理委員会事務局	募集期間:4月27日～9月10日(ポスター・標語) 11月12日～1月14日(書き初め) 展示場所:各区役所、きぼーる、生涯学習センター、女性センター、中央コミュニティセンター 展示期間合計:約4カ月	市民から選挙啓発作品を募集して入賞作品を展示することにより、各種選挙の投票率上昇を期する。	募集期間:5月18日～9月9日(ポスター・標語) 10月下旬～1月中旬(書き初め) 展示場所:各区役所、きぼーる、生涯学習センター、女性センター、中央コミュニティセンター 展示期間合計:約4カ月	市民から選挙啓発作品を募集して入賞作品を展示することにより、各種選挙の投票率上昇を期する。	総事業費 264	総事業費 229	B
◎	2	① 小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業(再掲)	バスでの送迎と鑑賞プログラムの設置により、学校団体の利用を促し、子どもたちに美術鑑賞の機会を用意する。	指定管理者 (財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化部文化振興課	参加校数:20校 1,318人	鑑賞プログラムを工夫し、子どもたちに美術により興味を持ってもらう。	参加校:20校 1,100人	鑑賞プログラムを工夫し、子どもたちに美術により興味を持ってもらう。また、ボランティアスタッフ3期メンバーの加入により、さらにきめ細かな対応をめざす。	総事業費 1,235	総事業費 1,155	B
◎	3	① 小・中学校音楽鑑賞教室(再掲)	小・中学校の体育館等において、プロのオーケストラの演奏会等を実施	市 ----- 主催	教育委員会事務局 学校教育部指導課	実施日:6月4日(金)・7月1日(木)・2日(金)・10月6日(水)・7日(木)10公演 参加校:小学校4校 中学校11校 計15校 来場者数:3,972人	来場者数:4,500人	実施日:5月31日(火)・6月1日(水)・2日(木)・7月5日(火)・6日(水)・7日(木)・10月4日(火)・5日(水)・6日(木)・18日(火)10公演 参加校:小学校3校 中学校15校 計18校	来場者数:4,500人	総事業費 8,775	総事業費 8,821	A
◎	4	① 小・中学生のためのオーケストラコンサート(再掲)	市内のホールにおいて小・中学生のためのオーケストラの演奏会等を実施	市 ----- 負担金	教育委員会事務局 学校教育部指導課	実施日:平成23年2月5日(土)・6日(日) 4公演 会場:千葉県文化会館 来場者数:3,446人	来場者数:5,000人	実施日:平成24年2月4日(土)・5日(日) 5公演 会場:千葉市民会館	来場者数:4,900人	総事業費 168	総事業費 168	A
◎	5	① 千葉市青少年ミュージカル事業(再掲)	青少年の参加による創作ミュージカルの公演 隔年実施(千葉市民オペラ公演との隔年行事)	その他 (財)千葉市文化振興財団 ----- 共催 補助金	市民局生活文化部文化振興課	隔年事業のため実施せず。	隔年事業のため実施せず。	休止	休止	総事業費 0	総事業費 0	
◎	6	① 文化ふれあい振興事業(再掲)	青少年及び市民がより身近なところで文化芸術活動に参加できる機会の提供や、文化芸術に親しむ市民の裾野の拡大につながる芸術文化活動への参加の機運を醸成し、本市の芸術文化の振興を図る。	その他 (財)千葉市文化振興財団 ----- 補助金	市民局生活文化部文化振興課			①千葉市青少年太鼓 日本の伝統楽器である和太鼓を取り上げて、その魅力に触れてもらうと共に、プロの講師により奏法を習得し次代に継承、普及していくことを目的として実施する。 ・ワークショップ 日程:1月14日・15日・21日・22日・28日・29日の午前午後(全12回程度) 会場:若葉文化ホール 受講予定者数:50人 ・公演 日程:平成24年2月12日(日) 会場:若葉文化ホール 入場予定者数:500人 ②ストリートダンス体験講座 子どもから20歳代までの人気のあるストリートダンスをテーマに実施する。ストリートダンスは、一人で踊るケースから複数で踊るケースまで、幅広い技術が必要とすることから、参加者の個性を生かすことはもとより、練習を通して、お互いの協調性や助け合いを養うことによりチームワークの必要性を体験してもらう。 ・ワークショップ 日程:7月27日・28日・29日、8月3日・4日・5日・10日・11日・12日・18日 会場:千葉市文化センター リハーサル室 受講予定者数:60人 ・公演 日程:8月19日(金) 会場:千葉市民会館 大ホール 入場予定者数:650人	①受講者数:50人 入場者数:500人 ②受講者数:60人 入場者数:650人	総事業費 0	総事業費 8,635	

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり	指定管理者								
◎ 7	①	こども演劇教室・公演 シニア演劇教室・公演 (隔年で実施) (再掲)	舞台芸術を体験・学ぶを通じて、芸術文化の楽しさを感じ、21世紀を担う芸術文化の振興を支える人材の育成を図る。	指定管理者 アートプレックス ちは事業体	市 市民局 生活文化部 文化振興課	市民局 生活文化部 文化振興課	こども演劇体験教室 主催:(財)千葉市文化振興財団 ・体験教室(全18回) プロの演出家や各専門家を講師に迎え指導を行った。 開催日:6月12・19日、7月28・31日、8月23・30日、9月4・20・23日、10月9・11日、11月3・13・20・23・27日、12月4・11日 会場:文化センター スタジオ 参加者数:45人 ・発表会 体験教室で習得した演技を発表する舞台演劇を開催した。 開催日:12月17日 ゲネプロ 12月18日 本番 会場:文化センター アートホール 演目:シンデレラ 入場者数:329人	参加者数:50人	指定管理者アートプレックスちは事業体の自主事業として、こどもだけでなくシニアにも対象を広げて継続予定。 平成24年度から開始するシニア演劇教室・公演の調査・研究を行う。	シニア演劇意識調査アンケート :1,000件	総事業費 2,846	総事業費 0	B

(2) 芸術家の発掘と育成

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				市の関わり	指定管理者								
1	①	千葉市 芸術文化新人賞	選考委員会を経て選ばれた千葉市にゆかりのある新進芸術家を表彰する。	市 主催	市民局 生活文化部 文化振興課	市民局 生活文化部 文化振興課	平成22年度より、新たな表彰区分として奨励賞を設置した。 ・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催(10月14日、11月12日) ・受賞者を発表(12月24日) ・授賞式を実施(1月20日) 推薦件数:35件 受賞件数:新人賞 2件 奨励賞 2件	推薦件数の増加 (平成21年度 53件)	・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～8月31日) ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施	推薦件数の増加 (平成22年度 35件)	総事業費 1,020	総事業費 1,529	B
2	②	新人賞フォローアップ事業	千葉市芸術文化新人賞受賞者等を対象とした支援事業	その他 指定管理者 共催 補助金	(財)千葉市文化振興財団 アートプレックス ちは事業体	市民局 生活文化部 文化振興課	①紺谷英和+新人賞受賞者ジョイントコンサート“和風浪漫” 会場:文化センター 主催:(財)千葉市文化振興財団 日程:1月23日(日) 入場者数:432人 ②新人賞受賞者記念コンサート スーパーフレッシュコラボレーション 会場:生涯学習センター 主催:(財)千葉市文化振興財団 日程:3月4日(金) 入場者数:236人 ③千葉市芸術文化新人賞受賞者出演作品 「美しき浜辺の妖精たちへ2011」 会場:美浜文化ホール 主催:アートウインド運営企業体 日程:2月6日(日)2回公演 入場者数:610人	①入場者数450人 ②入場者数150人 ③千葉市の新進芸術家たちのフォローアップとして、表現の場を共に作り上げることにより、千葉市の更なる芸術文化の向上を目指す。	①Chibaニューフェイスミニコンサート 会場:市内商業施設等 主催:(財)千葉市文化振興財団 日程:全4回 7・9・2・3月(日) ②新人賞受賞者ユニットコンサート 会場:文化センター 主催:(財)千葉市文化振興財団 日程:1月22日(日) ③千葉市芸術文化新人賞受賞者出演作品 「美しき浜辺の妖精たちへ2012」 会場:美浜文化ホール 主催:アートプレックスちは事業体 日程:3月17日(土)2回公演	①1公演あたり観覧者数150人 ②入場者数250人 ③1公演あたり入場者数300名	総事業費 5,890	総事業費 5,638	A
3	②	舞台芸術家 登録制度 (アーティスト バンク)	舞台芸術家の活動支援と市民への鑑賞機会拡充を目的に、千葉市にゆかりのある舞台芸術家を登録、紹介する制度	指定管理者	アートプレックス ちは事業体	市民局 生活文化部 文化振興課	運営:(財)千葉市文化振興財団 登録アーティストによる自主事業公演等の開催を検討する。 登録アーティスト数:47人・団体	登録アーティスト数: 75人・団体	運営:アートプレックスちは事業体 登録アーティストによる自主事業公演等の開催を検討する。	登録アーティスト数: 75人・団体	総事業費 0	総事業費 0	B
4	②	アトリウム コンサート	千葉市にゆかりのある優れた音楽団体・音楽家や、将来音楽家を目指している学生などに演奏する場を提供するとともに、年間を通して継続的なコンサートを行い、市民が気軽に本物の音楽に触れる機会を提供することで、千葉市の文化の活性化を図る。また、これにより音楽を通じた生涯学習活動の推進を図るとともに、豊かな市民生活の一助とする。	指定管理者	(財)千葉市教育振興財団	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	やすらぎのアトリウムコンサート(年4回) ①平成22年6月5日(土)～弦楽四重奏の響き～ 来場者数:282人 出演:弦楽四重奏 クアルテット ソレイユ 高橋梓他3名 ②平成22年10月2日(土)～2本のリコーダーとチェンバロの響きで楽しむイタリアン・バロックの音風景～ 来場者数:160人 出演:リコーダーとチェンバロ等 森吉京子さん他2人 ③平成22年12月4日(土)～クラシカル・クロスオーバーとラテン・ジャズの共演～ 来場者数:300人 出演:クラシカル・クロスオーバー Beneath the Blueさん他2人 ④平成23年3月12日(土) 中止 *場所はすべて生涯学習センター	来場者数:各回300人	やすらぎのアトリウムコンサート(年4回) ①平成23年6月4日(土) 出演:チェロとピアノのデュオ 大森健一他1人 ②平成23年10月1日(土) 出演:未定 ③平成23年12月上旬 出演:未定 ④平成24年3月10日(土) 出演:未定 *場所はすべて生涯学習センター	来場者数:各回300人	総事業費 200	総事業費 357	A
5	②	千葉市議会 議場コンサート	千葉市の地域文化の創造と市議会が市民にとってより身近に親しみやすいものとするため、改選後の定例会期中に議場で演奏会を開催する。	市 主催 委託料	議会事務局 総務課	議会事務局 総務課	4年に1度(改選後の第2回定例会開会に先立ち)開催する事業のため実施せず。	東京フィルハーモニー交響楽団の演奏会から、千葉市芸術文化新人賞受賞者等の市にゆかりのある芸術家による演奏会に切り替える。 詳細については未定。	議場で演奏会を開催することにより市民に市議会をより身近に感じてもらう市政への関心を高めるとともに、芸術文化新人賞受賞者等に発表の場を提供することにより文化芸術の創造・発展に資する。	総事業費 0	総事業費 200		

(3)文化芸術ボランティアの育成

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度決算額(千円)	平成23年度予算額(千円)	平成22年度事業評価
				指定管理者	市の関わり								
1	①	舞台セミナー	文化ホールを舞台を活用して、照明、舞台技術などの理解と習得のために実施するセミナー。受講者はセミナー終了後、舞台技術ボランティアに登録できる。	指定管理者 アートブレックスちば事業体	市市民局生活文化部文化振興課	主催:(財)千葉市文化振興財団 講座開催日:全3回 1月29日(土)、2月5日(土)・6日(日) 受講者数:29人 ウラボランティア登録者を募集(セミナー受講修了者に呼び掛け) 登録者数:8人	舞台技術ボランティア:20人	文化ゼミナール事業として実施 1(2)1 参照(3ページ)	文化ゼミナール事業として実施 1(2)1 参照(3ページ)	総事業費 1,303	総事業費 0	B	
2	①	美術館ボランティア	公募により採用され、ボランティア研修を受講したスタッフによる事業。美術館の展覧会について講習、自主的な学習をしたボランティアスタッフが、ギャラリートーク、鑑賞リーダーとして児童生徒の案内、ワークショップの企画、実施などの活動を行っている。(無償)	指定管理者 (財)千葉市教育振興財団	市市民局生活文化部文化振興課	ギャラリートークと鑑賞リーダーの活動を中心に、各種講座等の補助や自主的な企画によるワークショップを実施。 スキルアップ研修および自主勉強会を実施。 ギャラリートーク 定例 29回・自主 35回 鑑賞リーダー 35回 のべ208人(活動ボランティア数) ワークショップ等(自主/運営補助) 8件 *美術館までの道案内プロジェクト(5回実施)は、ワークショップ(1件)に数えた。 3期メンバーの養成研修を実施。	鑑賞プログラムを工夫し、子どもたちに美術により興味を持ってもらう。	ギャラリートークと鑑賞リーダーの活動を中心に、平成22年度より始まった道案内プロジェクトを含む、ボランティアが主体的に企画運営するワークショップを実施する。	3期ボランティアスタッフ4名を加え、さらなる活動の充実をはかる。	総事業費 70	総事業費 20	B	
3	①	文化ボランティア登録制度	市民による文化ボランティアを登録し、千葉市文化振興財団主催等の事業運営に協力する制度。主に公演時のオモテ方(受付、座席案内等)に従事していただく。	指定管理者 アートブレックスちば事業体	市市民局生活文化部文化振興課	主催:(財)千葉市文化振興財団 ボランティア登録者数:95人 ボランティア従事実績: 公演 72人 千葉市民文化大学 4人 ペイサイドジャズ千葉 42人 あでは送付作業 22人 計 延べ140人	ボランティア登録者数: 150人	主催:アートブレックスちば事業体 アートブレックスちば事業体の主催事業を中心に、公演のオモテ方として会場案内やチケットのめぐり等の受付に従事していただく。登録者全員を対象に事前研修会を開催し、公演の仕組み、会場の熟知、受付の仕事に万全を期す。	ボランティア登録者数: 100人	総事業費 136	総事業費 0	B	
4	①	施設ボランティア養成研修	施設ボランティアとして活動するにあたって必要となる知識・技術を習得するための研修を行う。(基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識取得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。(専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。	指定管理者 (財)千葉市教育振興財団	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	施設ボランティア養成研修基礎講座(6月17日~7月15日・全6回) 施設ボランティア養成研修専門講座Ⅰ(11月10日~11月17日・全3回) 施設ボランティア養成研修専門講座Ⅱ(11月16日~11月25日・全5回) ※場所は全て生涯学習センター ・全回出席者 基礎講座:24人/36人中 (加管利貝塚博物館、郷土博物館、千葉市美術館の受講生を含む) 専門講座:7人/9人中 ・ボランティア登録する者の数 9人	全回出席者の増加 ・基礎講座:28人/35人中 ・専門講座:8人/10人中 (平成21年度 ・基礎講座:20人/24人中 ・専門講座:10人/12人中) 研修修了後、ボランティア登録する者の増加(12人) (平成21年度 12人)	施設ボランティア養成研修基礎講座(全5回)  平成23年度より、外部講師による専門講座だけで構成せず、活動に当たって必要とされる専門的知識・技術の習得については、活動の中で職員や施設ボランティアが蓄積したノウハウを活用して研修を行っていく予定。 ※場所は全て生涯学習センター	・全回出席者の増加 基礎講座:24人/30人中 (平成22年度 24人/36人中) ・研修終了後、ボランティア登録する者の増加(10人) (平成22年度 9人)	総事業費 344	総事業費 578	A	
◎	5	②	千葉市ボランティアズカフェ  (1)ボランティア情報の提供 (2)ボランティアに関する相談 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	市   主催	総合政策局市民自治推進部市民自治推進課	(1)ボランティア情報の提供 施設利用者数:2440人 (2)ボランティアに関する相談 相談件数:219件 (3)会議室の提供 会議室の利用件数:143件 (4)イベント・講座等の開催 ボラカフェサロン 11回 ボラカフェ写真展 2回	(1)ボランティア情報の提供 施設利用者数:2,300人 (2)ボランティアに関する相談 相談件数:300件 (3)会議室の提供 会議室の利用件数:120件 (4)イベント・講座等の開催 ボラカフェサロン 9回 ボラカフェ写真展 2回	(1)ボランティア情報の提供 (2)ボランティアに関する相談 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 施設利用者数:2,600人 (2)ボランティアに関する相談 相談件数:300件 (3)会議室の提供 会議室の利用件数:160件 (4)イベント・講座等の開催 ボラカフェサロン 12回 ボラカフェ写真展 2回	総事業費 3,658	総事業費 3,291	B	
◎	6	②	ちば生涯学習ボランティアセンター  生涯学習センターにおいて、様々な分野の知識や技能をボランティアで役立てたい団体や個人の登録と、活動を依頼したい公共施設を利用して活動している団体及び学習・教育事業を行う公共施設への紹介および登録者の活動の支援を行う。	指定管理者 (財)千葉市教育振興財団	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	・登録の受付・コーディネート 登録者数:1,242人 利用件数:588件 ・「ボランティアパーク2011」の開催 開催日:2月6日(日)~13日(日) 会場:生涯学習センター 登録者による展示・ステージ発表・講座開催等 ・情報紙「ぼらセン通信」発行 年6回(偶数月) 各回2,800部発行 ・「スキルアップサポート事業」の実施 「スキルアップ講座ハコソノ」の開催 5講座10回 参加240人 「スキルアップ講座ハコソノ以外の分野」の開催 9講座9回 参加49人	登録者数・利用件数の増加 (登録者数:1200人 利用件数:700件) (平成21年度 登録者数:1,075人 利用件数:618件)	・登録者の受付・コーディネート ・情報紙「ぼらセン通信」の発行 年5回程度を予定 ・学習・教育事業を行う公共施設や研修会等での紹介を6回程度を予定	登録者数、利用件数の増加 (平成22年度 登録者数:1,242人 利用件数:588件)	総事業費 4,081	総事業費 590	A	

基本施策4 創造活動を支える場の確保

(1) 創作活動の場づくり

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
1	①	学校空き教室の有効利用	小・中学校の空き教室を有効的に活用するため、利用調整を図る。	市 ----- 主催	総合政策局 総合政策部 政策調整課 教育委員会 事務局 教育総務部 企画課	・各小・中学校の「余裕教室」「空き教室」の数を精査し、活用状況を把握した。 小学校：空き教室がある学校 34校/120校、空き教室数 127室 中学校：空き教室がある学校 13校/ 57校、空き教室数 55室 ・地域住民等から学校に寄せられた学校施設の活用要望等について、実態調査を行った。	空き教室活用のための調整を図る。	・地域住民等への開放が可能な学校施設があるかを調査する。 ・地域コミュニティの拠点としてどのような取り組みができるのかについて、検討を進めていく。	空き教室の活用について、地域コミュニティの拠点としての取り組みを検討する。	総事業費 0	総事業費 0	C
2	① ②	アーティストインキュベート	「千葉市文化芸術振興計画」に基づき、あらゆる芸術家に対し、作品の制作や発表、多様な人々との交流の場を提供するため、学校跡施設等を利用し、本市に新たな文化芸術が生まれる活動基盤を整備する。	市 ----- 主催	市民局 生活文化部 文化振興課	休止	休止	休止	休止	総事業費 0	総事業費 0	C

(2) 既存施設活用の促進

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
1	①	学校空き教室の有効利用(再掲)	小・中学校の空き教室を有効的に活用するため、利用調整を図る。	市 ----- 主催	総合政策局 総合政策部 政策調整課 教育委員会 事務局 教育総務部 企画課	・各小・中学校の「余裕教室」「空き教室」の数を精査し、活用状況を把握した。 小学校：空き教室がある学校 34校/120校、空き教室数 127室 中学校：空き教室がある学校 13校/ 57校、空き教室数 55室 ・地域住民等から学校に寄せられた学校施設の活用要望等について、実態調査を行った。	空き教室活用のための調整を図る。	・地域住民等への開放が可能な学校施設があるかを調査する。 ・地域コミュニティの拠点としてどのような取り組みができるのかについて、検討を進めていく。	空き教室の活用について、地域コミュニティの拠点としての取り組みを検討する。	総事業費 0	総事業費 0	C
2	① ②	アーティストインキュベート(再掲)	「千葉市文化芸術振興計画」に基づき、あらゆる芸術家に対し、作品の制作や発表、多様な人々との交流の場を提供するため、学校跡施設等を利用し、本市に新たな文化芸術が生まれる活動基盤を整備する。	市 ----- 主催	市民局 生活文化部 文化振興課	休止	休止	休止	休止	総事業費 0	総事業費 0	C
◎ 3	④	文化施設間のネットワーク化	指定管理者として管理運営する文化施設間(4館)のネットワーク化を図り、どの施設からも空き状況が確認でき、予約ができる体制を構築する。	指定管理者 アートプレックス ちば事業体 -----	市民局 生活文化部 文化振興課			文化施設間(4館)のネットワークを構築し、施設相互間の予約受付を行い利用者の利便性向上を図る。 ホームページ他広報にて周知する。	利用者への周知及び円滑な運営	総事業費 -	総事業費 14,019	
◎ 4	⑤	生涯学習情報提供システム(まなびネット)の運用・管理	生涯学習活動を総合的に支援し、市民の生涯学習及び交流の場を確保するために、市内で行われる講座や活動している学習グループ等の生涯学習情報をインターネットを通じて提供する。	指定管理者 (財)千葉市教育 振興財団 -----	教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	・22年度データ登録実績 講座・教室情報 1,973件 イベント情報 1,835件 計 3,808件  ・22年度アクセス実績 88,093件	数値目標なし	「ちば市政だより」に掲載される講座・教室情報、イベント情報を中心に生涯学習情報としてデータを作成・入力する。	数値目標なし	総事業費 1,396	総事業費 1,600	B

基本施策5 文化芸術活動への支援

(1) 情報提供機能の充実

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
1	①	文化情報紙「あでは」刊行	千葉市を中心に行われる音楽やイベントなど文化に関する行事の情報を収集して施設ごとに紹介するとともに、千葉市の文化財等に関する情報を発信する。	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課	発行:(財)千葉市文化振興財団 規格:5月~9月号A4判 4頁(1色) 10月~4月号A4判 6頁(2色) 部数:10,000部×12ヶ月=120,000部 配布箇所:約400箇所 読者アンケート数:169通(平成23年3月31日現在)	市内文化関係情報の提供の充実を図る。	発行:アートプレックスちば事業体 規格:A4判 6頁(2色) 部数:10,000部×12ヶ月=120,000部 配布箇所:約400箇所	市内文化関係情報の提供の充実を図る。 読者アンケート数:200通	総事業費 1,645	総事業費 2,672	A
2	②	文化情報センターの設置・運営	市民がワンストップで文化情報やチケット購入ができる文化情報センターを設置する。文化情報を収集・展示・発信する文化ライブラリーと、千葉市内のホール等で開催される公演のチケットが購入できるチケットセンターからなる。	指定管理者 千葉トリニティ 運営事業体	市民局 生活文化部 文化振興課	市民がワンストップで文化情報やチケット購入ができる文化情報センターを設置 オンラインチケットの予約・販売を実施 チケット取扱実績 取扱公演数:118件(平成23年3月31日現在) 販売件数:2,321件(全4館取扱件数14,723件)全体の15.8%(平成23年3月31日現在)	チケット取扱件数の増加と公演情報の拡充 (平成21年度 2,349件)	オンラインチケットの予約・販売を実施する。 また、ホームページ上で市内・県内の月別イベント情報を掲載するなど、館内の公演案内コーナーに設置する情報の充実とともにWEB活用により情報量の充実を図る。	チケット取扱件数の増加と公演情報の拡充	総事業費 0	総事業費 0	B
3	②	アーツステーションちばの設置・運営	市民がワンストップで文化情報やチケット購入ができる文化情報センターを設置する。文化情報を収集・展示・発信する文化ライブラリーと、千葉市内のホール等で開催される公演のチケットが購入できるチケットセンターからなる。	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課			文化センターに千葉の文化・芸術情報発信・協働の拠点として「アーツステーションちば」を設置 運営:アートプレックスちば事業体 アーツステーションちばの機能: ①文化情報発信 ②チケットセンター ③舞台企画、事業企画等相談窓口	早期の開設を目指し、チケット販売件数並びに相談件数の拡充を図る。	総事業費 0	総事業費 0	

(2) 市民と行政の協働体制の確立

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
1	①	千葉市文化芸術振興会議の設置・開催	市民と行政が協働して文化芸術振興を行うための会議を設置し、開催する。	市 主催	市民局 生活文化部 文化振興課	千葉市文化芸術懇話会を平成22年度より条例化し、千葉市文化芸術振興会議を2回開催した。 ・第1回 開催日:平成22年7月2日(金) 会場:中央コミュニティセンター 議題:①委員長、副委員長の選出 ②「千葉市文化芸術振興計画」について ③「千葉市文化芸術振興計画 進捗状況」について (平成20・21年度実施状況、平成22年度実施計画) ④その他 出席者:文化芸術振興会議委員・市民局長ほか ・第2回 開催日:平成23年1月25日(火) 会場:中央コミュニティセンター 議題:①「千葉市文化芸術振興計画」について ②千葉市文化施設等に係る市民ニーズ・利用実態調査について ③審議会委員について ④その他 出席者:文化芸術振興会議委員・市民局長ほか	2回開催	千葉市文化芸術振興会議を2回開催する。 ・第1回 開催日:平成23年7月11日(月)予定 会場:中央コミュニティセンター 出席者:文化芸術振興会議委員・市民局長ほか ・第2回 開催日:平成24年1月頃	2回開催 委員から得た意見を、「千葉市文化芸術振興計画」の推進に反映させる。	総事業費 187	総事業費 287	A
◎	2	文化芸術活動支援事業	文化芸術活動の支援のため、共催・後援、広報の協力、会場の確保、負担金の交付などを行う。	芸術文化団体 共催 負担金	市民局 生活文化部 文化振興課	・芸術文化団体との共催事業(市負担金を交付) 11事業 1,149千円 平成22年度参加・来場者数 31,507人 ・芸術文化団体の申請内容に応じ、共催・後援、広報の協力、会場の確保、負担金の交付を行った。 ・芸術文化団体に対する市長賞の副賞交付 13事業 79千円 ・平成22年度より、芸術文化団体の後援事業に対する補助金交付は廃止	参加・来場者数の増加 (平成21年度 31,596人)	・芸術文化団体との共催事業(市負担金を交付) 11事業 1,149千円 ・芸術文化団体の申請内容に応じ、共催・後援、広報の協力、会場の確保、負担金の交付を行う。 ・平成23年度より、芸術文化団体に対する市長賞の副賞交付は廃止 ※平成23年度より、事業名を「芸術文化団体育成事業」から「文化芸術活動支援事業」へ変更。	参加・来場者数の増加	総事業費 25,145	総事業費 24,641	B
◎	3	アーティストインキュベーター(再掲)	「千葉市文化芸術振興計画」に基づき、あらゆる芸術家に対し、作品の制作や発表、多様な人々との交流の場を提供するため、学校跡施設等を利用し、本市に新たな文化芸術が生まれる活動基盤を整備する。	市 主催	市民局 生活文化部 文化振興課	休止	休止	休止	休止	総事業費 0	総事業費 0	C

(3)産・学・官の連携促進

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
				市の関わり								
1	②	千葉市・大学 連絡会議	市内の大学及び短期大学と、本市の課題等について広く意見・情報交換を行う。	市  主催	総合政策局 総合政策部 政策企画課	平成22年度は、市長と市内各大学の学長とによる会議を開催し、トップレベルによる関連な意見交換を実施した。 千葉市・大学連絡会議の開催(7月1日(木)) 市長と市内12大学・短期大学の学長らが出席	幹事会を1回開催	千葉市・大学連絡会議の開催 ・幹事会の開催	千葉市・大学連絡会議、幹事会 ともに各1回開催	総事業費 30	総事業費 33	A
◎ 2	①	文化情報紙 「あでるは」刊行 (再掲)	千葉市を中心に行われる音楽やイベントなど文化に関する行事の情報を収集して施設ごとに紹介するとともに、千葉市の文化財等に関する情報を発信する。	指定管理者 アートプレックス ちば事業体	市民局 生活文化部 文化振興課	発行:(財)千葉市文化振興財団 規格:5月～9月号A4判 4頁(1色) 10月～4月号A4判 6頁(2色) 部数:10,000部×12ヶ月=120,000部 配布箇所:約400箇所 読者アンケート数:169通(平成23年3月31日現在)	市内文化関係情報の提供の 充実を図る。	発行:アートプレックスちば事業体 規格:A4判 6頁(2色) 部数:10,000部×12ヶ月=120,000部 配布箇所:約400箇所	市内文化関係情報の提供の 充実を図る。 読者アンケート数:200通	総事業費 1,645	総事業費 2,672	A

(4)文化振興推進体制の強化

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成22年度実施状況	平成22年度目標	平成23年度実施計画	平成23年度目標	平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)	平成22年度 事業評価
				市の関わり								
1	①	千葉市 文化行政推進会議 の設置・開催	庁内の文化関連事業を効果的に実施するため、庁内の横断的組織となる文化行政推進会議を設置し、開催する。	市  主催	市民局 生活文化部 文化振興課	文化行政推進会議幹事会の開催(5月12日) 文化行政推進会議の開催(6月15日)	幹事会を1回開催	文化行政推進会議幹事会の開催(5月13日) 文化行政推進会議の開催(6月)	幹事会を1回開催 庁内の連携強化を図る。	総事業費 0	総事業費 0	B

平成22年度 決算額(千円)	平成23年度 予算額(千円)
全61事業 総事業費 合計 429,378	全65事業 総事業費 合計 354,477 (一部未定)